

富良野市

地域福祉に関するアンケート
結果報告書

令和2年3月

富良野市

目 次

I	調査の概要及び回答者の属性	1
1	調査の概要	1
(1)	調査目的	1
(2)	調査対象及び調査方法	1
(3)	配布数及び回収結果	1
2	本調査報告書の基本的な事項	1
(1)	数値の基本的な取り扱いについて	1
3	回答者の属性	2
(1)	性別	2
(2)	年齢	2
(3)	職業	2
(4)	家族構成	3
(5)	居住地区	3
(6)	居住年数	3
II	調査結果	4
1	回答者自身のことについて	4
(1)	世帯の家計について	4
2	地域での生活について	6
(1)	富良野市は暮らしやすいまちだと思うか	6
(2)	近所との付き合いの程度	7
(3)	今後近所とのかかわりをどうしたいか	8
(4)	地域の中での問題点、不足しているもの	9
(5)	日常生活で日頃不安に思っていること	11
(6)	ボランティアや近隣住民に手助けしてほしいこと	14
(7)	日常生活の不安や悩みを誰に相談しようと思うか	16
(8)	福祉や健康に関する情報を十分に得られているか	18
(9)	福祉についての情報や知識の入手方法	19
(10)	福祉や健康について知りたい情報	21
(11)	地域の暮らしについて	23
3	地域活動・ボランティア活動について	24
(1)	地域活動やボランティア活動への参加状況	24
(2)	参加している活動	25
(3)	参加していない理由	27
(4)	今後の地域活動やボランティア活動への参加意向	29
(5)	地域活動やボランティア活動を広げるために重要なこと	30
4	災害時の対応について	32
(1)	災害発生時の避難場所を知っているか	32

(2) 避難の際に手助けしてくれる人はいるか.....	33
(3) 避難の手助けをしてくれる人.....	34
5 権利擁護について.....	36
(1) 虐待や家庭内暴力の通報義務を知っているか.....	36
(2) 成年後見制度を知っているか.....	37
(3) 判断能力が低下した時に契約や金銭の管理をする人はいるか.....	38
(4) 日常生活自立支援事業を知っているか.....	39
6 民生委員・児童委員、社会福祉協議会について.....	40
(1) 民生委員・児童委員という名前や制度を知っているか.....	40
(2) 地区の民生委員・児童委員が誰か知っているか.....	41
(3) 富良野市社会福祉協議会を知っているか.....	42
(4) 富良野市社会福祉協議会に期待すること.....	43
7 福祉全般について.....	45
(1) 福祉サービスの現状について.....	45
(2) 地域福祉の基盤整備を進めるために優先すべきこと.....	47
(3) 安心して暮らせる地域にするために重要な取り組み.....	49
(4) 地域福祉を充実させていく上での行政と住民の関係.....	52
(5) 今後の福祉サービスや事業のあり方について.....	53

I 調査の概要及び回答者の属性

1 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、新たな「富良野市地域福祉計画」の策定にあたって、地域での生活や福祉活動に関する状況を把握し、計画づくりの基礎資料とするために実施した。

(2) 調査対象及び調査方法

項目	内容
調査対象	18歳以上の市民
配布数	2,000
抽出法	無作為抽出
調査方法	郵送法
調査時期	令和元年12月
調査地域	富良野市全域

(3) 配布数及び回収結果

配布数	2,000
有効回収数	861
有効回収率	43.1%

2 本調査報告書の基本的な事項

(1) 数値の基本的な取り扱いについて

①比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出している。従って、合計が100%を上下する場合もある。

②基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出している。

③質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出しても良い問であり、従って各回答の合計比率は100%を超える場合がある。

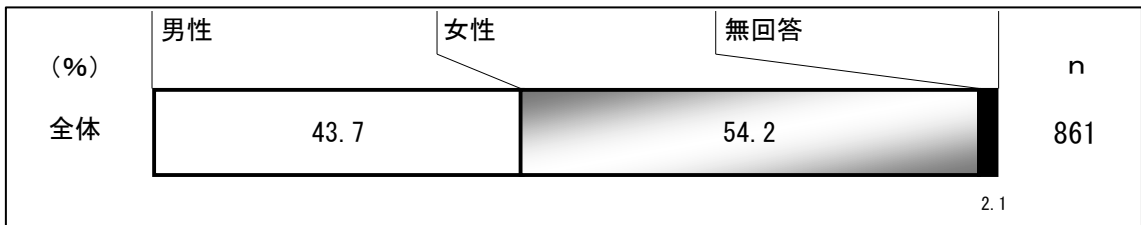
④クロス集計においては、属性となっている性別や年齢、居住地区の回答が無回答の場合、グラフに表示されないため、属性ごとのnの和と全体のnが一致しないことがある。

3 回答者の属性

(1) 性別

回答者の性別は、「女性」が54.2%、「男性」が43.7%となっている。

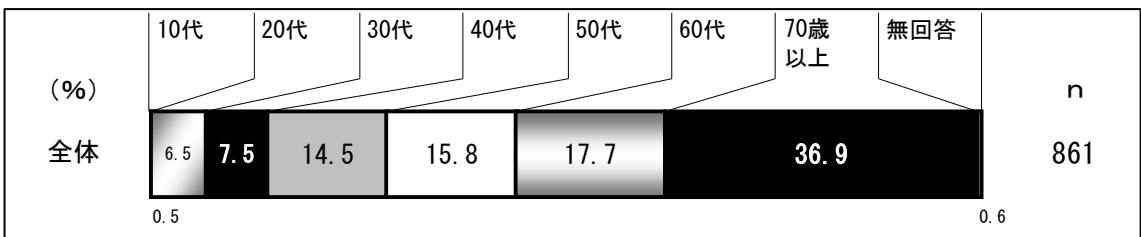
図表 回答者の性別



(2) 年齢

回答者の年齢は、「70歳以上」が36.9%、「60代」が17.7%、「50代」が15.8%、「40代」が14.5%、「30代」が7.5%、「20代」が6.5%、「10代」が0.5%となっている。

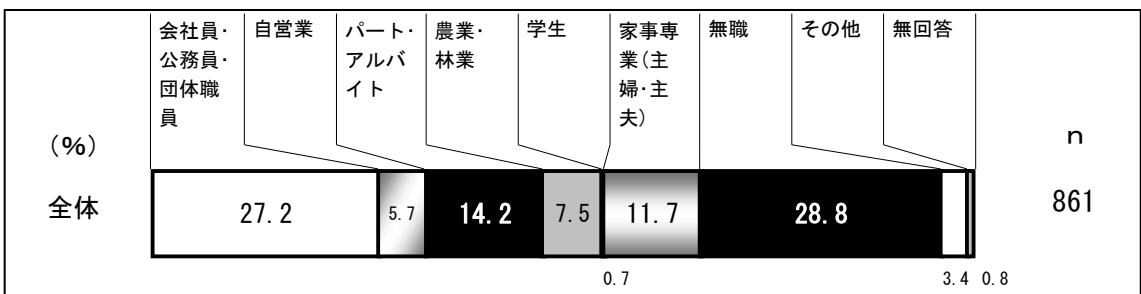
図表 回答者の年齢



(3) 職業

回答者の職業は、「無職」が28.8%、「会社員・公務員・団体職員」が27.2%、「パート・アルバイト」が14.2%、「家事専業(主婦・主夫)」が11.7%、「農業・林業」が7.5%、「自営業」が5.7%、「学生」が0.7%となっている。

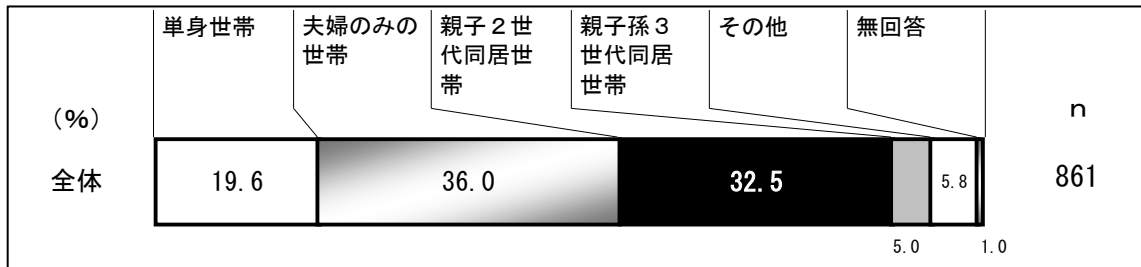
図表 回答者の職業



(4) 家族構成

回答者の家族構成は、「夫婦のみの世帯」が36.0%、「親子2世代同居世帯」が32.5%、「単身世帯」が19.6%、「親子孫3世代同居世帯」が5.0%となっている。

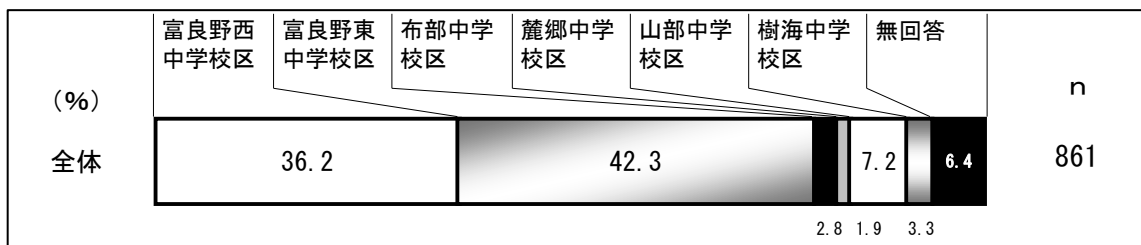
図表 回答者の家族構成



(5) 居住地区

回答者の居住地区は、「富良野東中学校区」が42.3%、「富良野西中学校区」が36.2%、「山部中学校区」が7.2%、「樹海中学校区」が3.3%、「布部中学校区」が2.8%、「麓郷中学校区」が1.9%となっている。

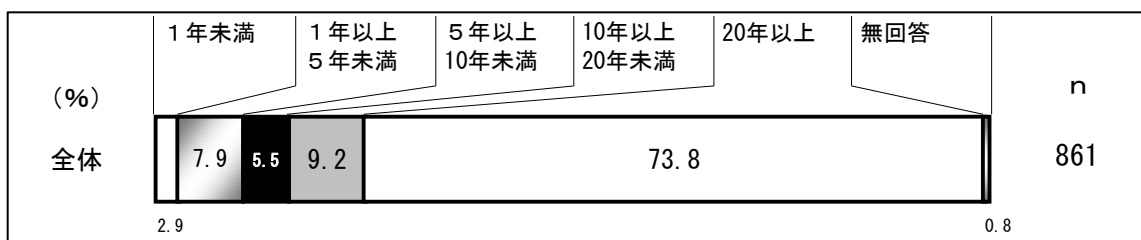
図表 居住地区



(6) 居住年数

回答者の居住年数は、「20年以上」が73.8%、「10年以上20年未満」が9.2%、「1年以上5年未満」が7.9%、「5年以上10年未満」が5.5%、「1年未満」が2.9%となっている。

図表 居住年数



Ⅱ 調査結果

1 回答者自身のことについて

(1) 世帯の家計について

問7 あなたの世帯の家計について、どのように感じていますか。(1つに○)

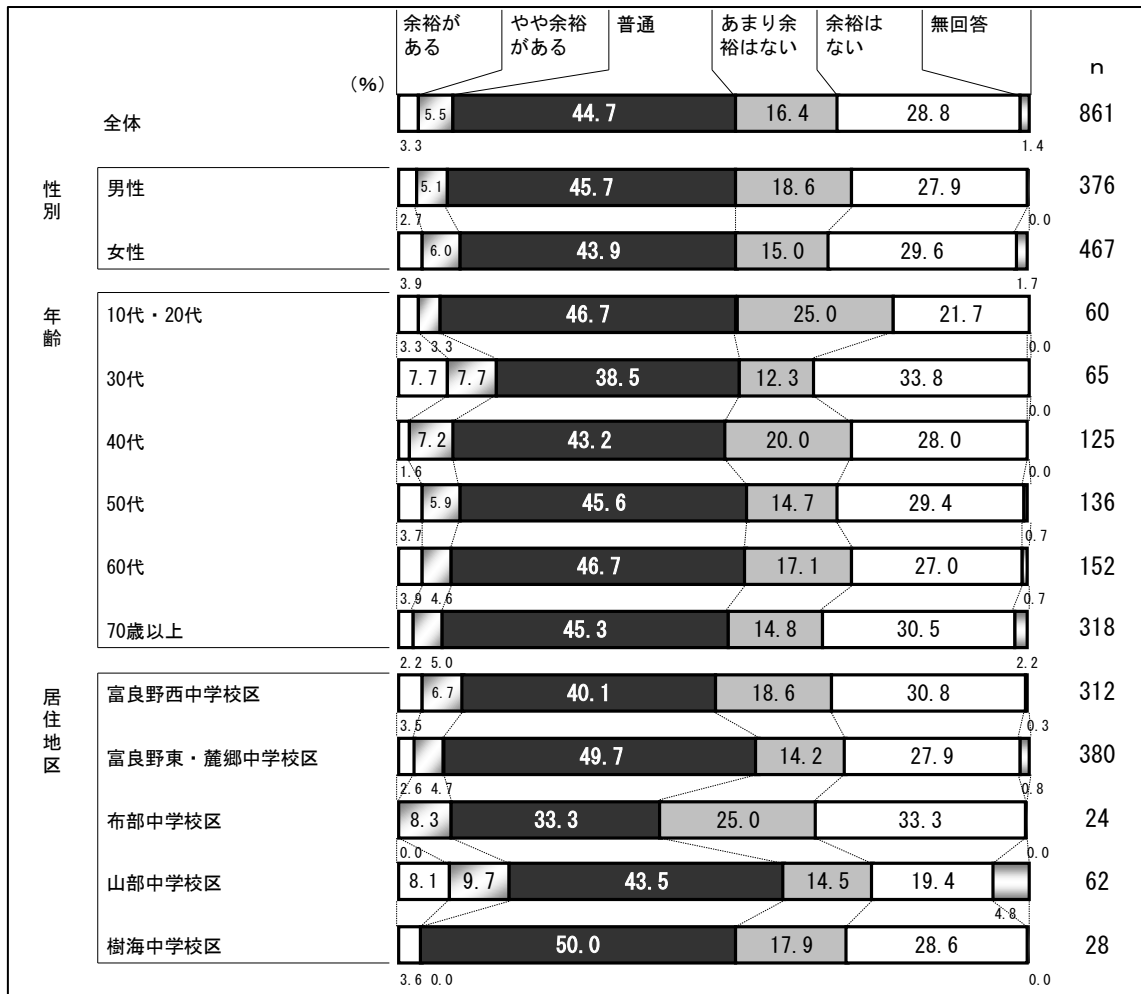
- 「普通」が4割強、「余裕はない」は5割弱を占める。「余裕がある」は1割に満たない。

世帯の家計についてたずねたところ、「普通」が44.7%を占める。「余裕がある」(3.3%)と「やや余裕がある」(5.5%)を合わせた“余裕がある”は8.8%、「あまり余裕はない」(16.4%)と「余裕はない」(28.8%)を合わせた“余裕はない”は45.2%となっている。

年齢で見ると、30代では「普通」が4割未満となっており、他の年齢層に比べて低くなっている。

居住地区で見ると、山部中学校区では、“余裕がある”が17.8%と、他の地区に比べて高くなっている。

図表 世帯の家計について



2 地域での生活について

(1) 富良野市は暮らしやすいまちだと思うか

問8 富良野市は暮らしやすいまちだと思いますか。(1つに○)

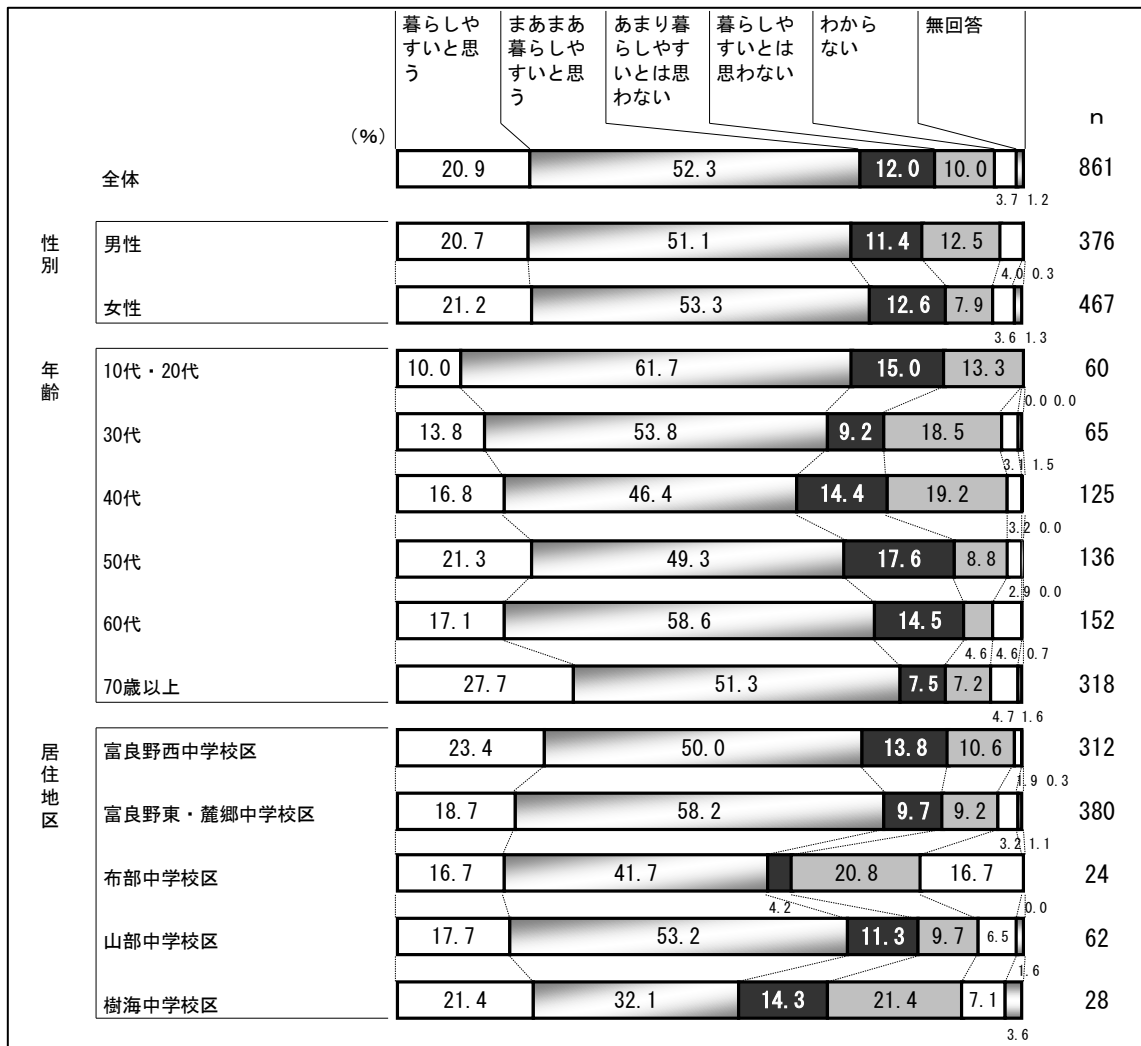
- “暮らしやすいと思う” が7割強を占める。

富良野市は暮らしやすいまちだと思うかたずねたところ、「暮らしやすいと思う」(20.9%)と「まあまあ暮らしやすいと思う」(52.3%)を合わせた“暮らしやすいと思う”が73.2%、「あまり暮らしやすいとは思わない」(12.0%)と「暮らしやすいとは思わない」(10.0%)を合わせた“暮らしやすいとは思わない”が22.0%となっている。

年齢で見ると、40代では“暮らしやすいとは思わない”が33.6%を占めるほか、10代・20代、30代、50代でも“暮らしやすいとは思わない”が3割弱を占めている。

居住地区で見ると、樹海中学校区と布部中学校区では、“暮らしやすいと思う”が他の地区と比べて低くなっている。

図表 富良野市は暮らしやすいまちだと思うか



(2) 近所との付き合いの程度

問9 あなたは、近所とお付き合いをどの程度していますか。(1つに○)

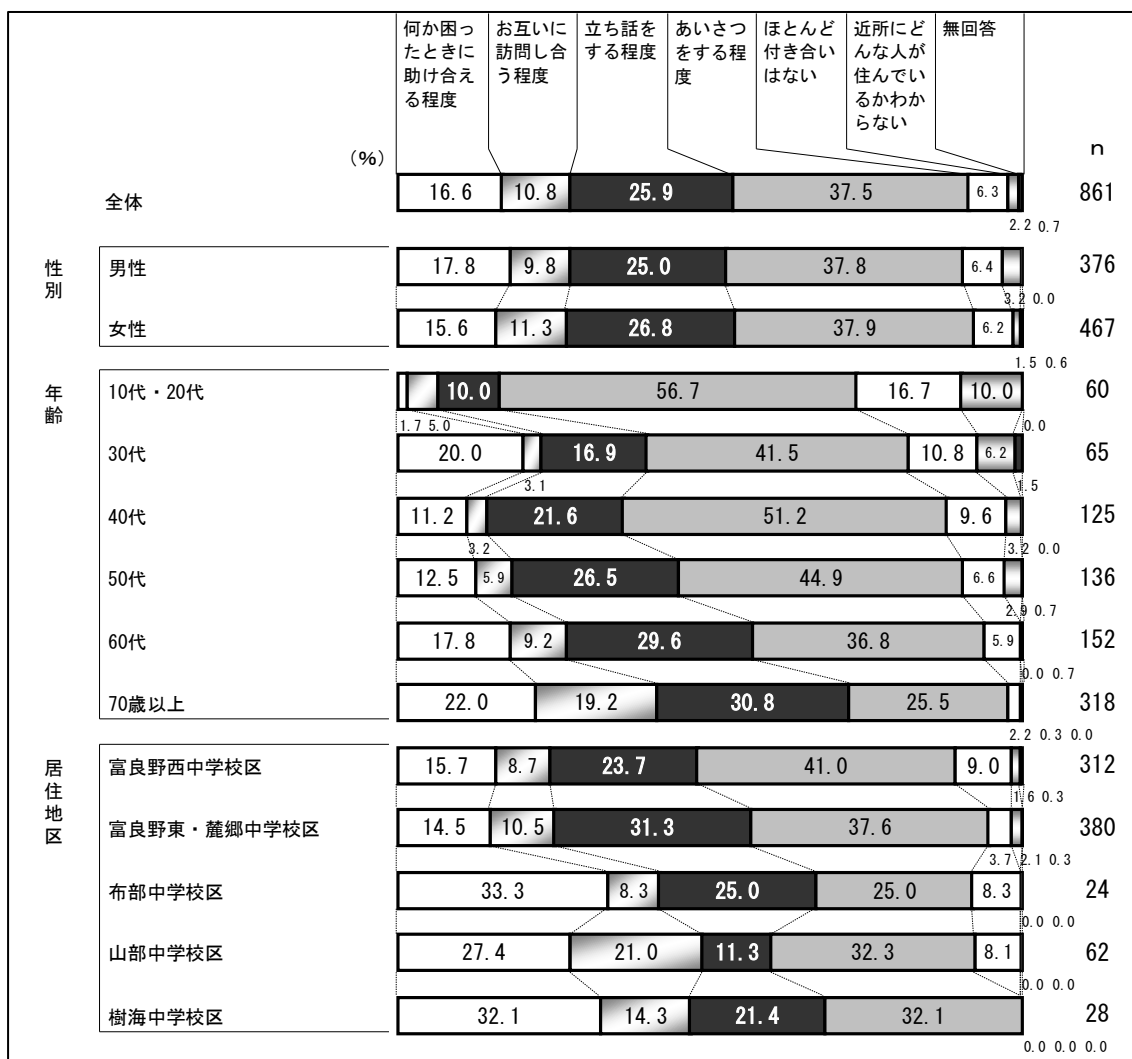
- 「あいさつをする程度」が4割弱、「立ち話をする程度」が3割弱を占める。

近所との付き合いの程度については、「あいさつをする程度」が37.5%、「立ち話をする程度」が25.9%、「何か困ったときに助け合える程度」が16.6%、「お互いに訪問し合う程度」が10.8%、「ほとんど付き合いはない」が6.3%、「近所にどんな人が住んでいるかわからない」が2.2%となっている。

年齢で見ると、高齢になるにつれて付き合いの程度が深くなる傾向がうかがえる。30代と70歳以上では「何か困ったときに助け合える程度」が2割以上を占めている。

居住地区で見ると、布部中学校区と樹海中学校区では「何か困ったときに助け合える程度」が3割強を占めているほか、山部中学校区でも3割弱を占めている。

図表 近所との付き合いの程度



(3) 今後近所とのかかわりをどうしたいか

問 10 あなたは、今後近所とのかかわりをどのようにしたいですか。(1つに○)

- “親しくしたい”が8割弱を占める。

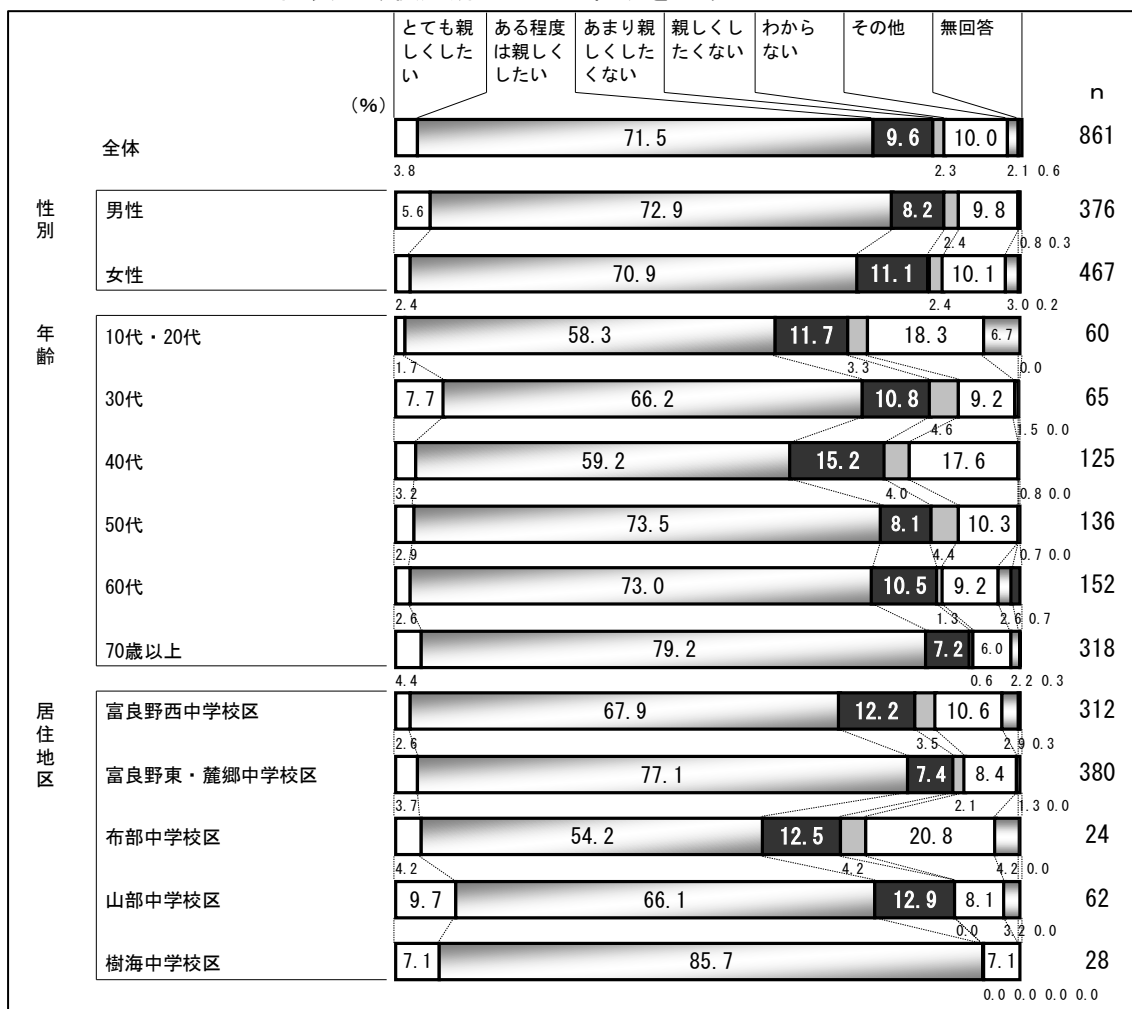
今後近所とのかかわりをどうしたいかについては、「とても親しくしたい」(3.8%)と「ある程度は親しくしたい」(71.5%)を合わせた“親しくしたい”が75.3%、「あまり親しくしたくない」(9.6%)と「親しくしたくない」(2.3%)を合わせた“親しくしたくない”が11.9%となっている。なお、「わからない」は10.0%となっている。

性別でみると、女性と比べて男性の“親しくしたい”の割合が高くなっている。

年齢でみると、10代・20代と40代では“親しくしたい”が6割程度となっており、他の年齢層と比べて低くなっている。

居住地区でみると、布部中学校区では“親しくしたい”が6割弱にとどまっている。

図表 今後近所とのかかわりをどうしたいか



(4) 地域の中での問題点、不足しているもの

問 11 現在、あなたの住んでいる地域の中での問題点、不足していると思うものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)【複数回答】



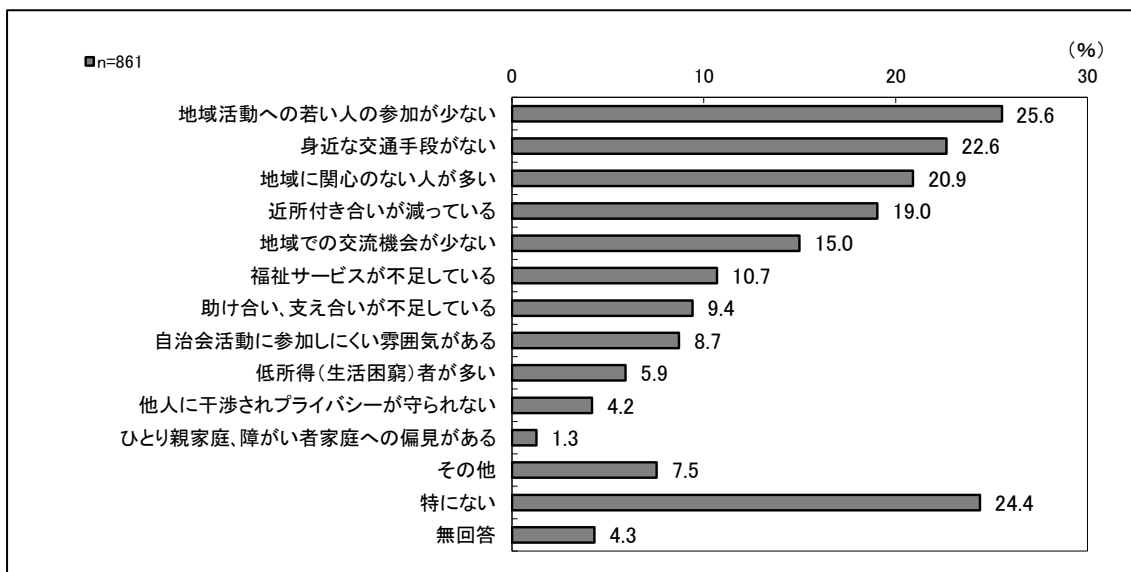
● 「地域活動への若い人の参加が少ない」が第1位。「身近な交通手段がない」、「地域に関心のない人が多い」などが続く。一方で「特にない」は 24.4%を占める。

地域の中での問題点、不足しているものについては、「地域活動への若い人の参加が少ない」(25.6%)が最も多く、次いで「身近な交通手段がない」(22.6%)、「地域に関心のない人が多い」(20.9%)、「近所付き合いが減っている」(19.0%)、「地域での交流機会が少ない」(15.0%)、「福祉サービスが不足している」(10.7%)、「助け合い、支え合いが不足している」(9.4%)、「自治会活動に参加しにくい雰囲気がある」(8.7%)、「低所得(生活困窮)者が多い」(5.9%)、「他人に干渉されプライバシーが守られない」(4.2%)、「ひとり親家庭、障がい者家庭への偏見がある」(1.3%)などの順となっている。なお、「特にない」は 24.4%となっている。

性別で見ると、男性では「地域活動への若い人の参加が少ない」が第1位となっているのに対し、女性では「身近な交通手段がない」が第1位となっている。

年齢で見ると、40代以下では「身近な交通手段がない」が第1位となっているのに対し、50代以上では「地域活動への若い人の参加が少ない」が第1位となっている。60代では「地域に関心のない人が多い」も同率で第1位となっている。

図表 地域の中での問題点、不足しているもの(全体/複数回答)



図表 地域の中での問題点、不足しているもの
 (全体・性別・年齢・居住地区－上位第3項目／複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		地域活動への若い人の参加が少ない 25.6	身近な交通手段がない 22.6	地域に関心のない人が多い 20.9
性別	男性	地域活動への若い人の参加が少ない 28.5	地域に関心のない人が多い 25.8	身近な交通手段がない 21.5
	女性	身近な交通手段がない 24.4	地域活動への若い人の参加が少ない 23.1	近所付き合いが減っている 18.6
年齢	10代・20代	身近な交通手段がない 26.7	近所付き合いが減っている／地域活動への若い人の参加が少ない 18.3	
	30代	身近な交通手段がない 21.5	地域に関心のない人が多い 16.9	地域での交流機会が少ない／福祉サービスが不足している 12.3
	40代	身近な交通手段がない 32.8	地域に関心のない人が多い／地域活動への若い人の参加が少ない 21.6	
	50代	地域活動への若い人の参加が少ない 31.6	地域に関心のない人が多い 26.5	身近な交通手段がない 25.7
	60代	地域に関心のない人が多い／地域活動への若い人の参加が少ない 26.3	近所付き合いが減っている 19.7	
	70歳以上	地域活動への若い人の参加が少ない 28.9	近所付き合いが減っている 25.8	身近な交通手段がない 20.4
居住地区	富良野西中学校区	地域活動への若い人の参加が少ない 27.6	地域に関心のない人が多い 22.4	身近な交通手段がない 20.5
	富良野東・麓郷中学校区	地域活動への若い人の参加が少ない 26.1	地域に関心のない人が多い 22.4	身近な交通手段がない 20.5
	布部中学校区	身近な交通手段がない 45.8	近所付き合いが減っている／地域活動への若い人の参加が少ない 29.2	
	山部中学校区	地域での交流機会が少ない／身近な交通手段がない 27.4		地域活動への若い人の参加が少ない 24.2
	樹海中学校区	身近な交通手段がない 42.9	近所付き合いが減っている／福祉サービスが不足している 17.9	

(5) 日常生活で日頃不安に思っていること

問 12 あなたが、日常生活で日頃不安に思っていることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)【複数回答】

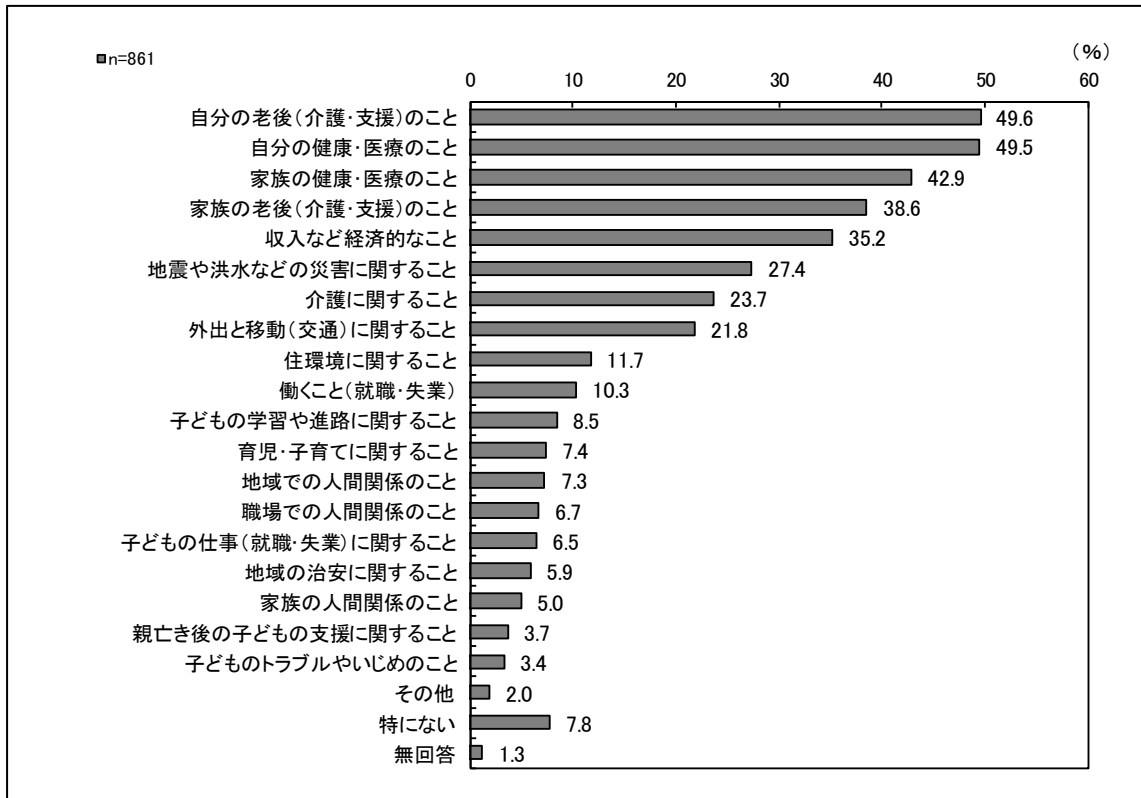
- 「自分の老後（介護・支援）のこと」と「自分の健康・医療のこと」が上位を占める。

日常生活で日頃不安に思っていることについては、「自分の老後（介護・支援）のこと」（49.6%）が最も多く、次いで「自分の健康・医療のこと」（49.5%）、「家族の健康・医療のこと」（42.9%）、「家族の老後（介護・支援）のこと」（38.6%）、「収入など経済的なこと」（35.2%）、「地震や洪水などの災害に関すること」（27.4%）、「介護に関すること」（23.7%）、「外出と移動（交通）に関すること」（21.8%）、「住環境に関すること」（11.7%）、「働くこと（就職・失業）」（10.3%）、「子どもの学習や進路に関すること」（8.5%）、「育児・子育てに関すること」（7.4%）、「地域での人間関係のこと」（7.3%）、「職場での人間関係のこと」（6.7%）、「子どもの仕事（就職・失業）に関すること」（6.5%）、「地域の治安に関すること」（5.9%）、「家族の人間関係のこと」（5.0%）などの順となっている。なお、「特にない」は7.8%となっている。

性別で見ると、男性では「自分の健康・医療のこと」が第1位となっているのに対し、女性では「自分の老後（介護・支援）のこと」が第1位となっている。

年齢で見ると、10代・20代では「収入など経済的なこと」が第1位となっているほか、30代では「家族の健康・医療のこと」と「育児・子育てに関すること」が同率で第1位となっている。

図表 日常生活で日頃不安に思っていること（全体／複数回答）



図表 日常生活で日頃不安に思っていること
 (全体・性別・年齢・居住地区－上位第3項目／複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		自分の老後（介護・支援） のこと 49.6	自分の健康・医療のこと 49.5	家族の健康・医療のこと 42.9
性別	男性	自分の健康・医療のこと 48.9	自分の老後（介護・支援） のこと 48.1	家族の健康・医療のこと 43.6
	女性	自分の老後（介護・支援） のこと 51.4	自分の健康・医療のこと 49.7	家族の健康・医療のこと 42.6
年齢	10代・20代	収入など経済的なこと 46.7	働くこと（就職・失業） 28.3	家族の健康・医療のこと 26.7
	30代	家族の健康・医療のこと／育児・子育てに関する こと 41.5	自分の健康・医療のこと 38.5	
	40代	家族の健康・医療のこと 48.0	家族の老後（介護・支援） のこと 47.2	自分の健康・医療のこと／ 自分の老後（介護・支援） のこと 46.4
	50代	自分の老後（介護・支援） のこと 51.5	家族の健康・医療のこと 48.5	家族の老後（介護・支援） のこと 47.8
	60代	自分の健康・医療のこと 55.9	自分の老後（介護・支援） のこと 54.6	家族の健康・医療のこと 46.7
	70歳以上	自分の老後（介護・支援） のこと 58.2	自分の健康・医療のこと 56.0	家族の健康・医療のこと 39.9
居住地区	富良野西中学校区	自分の老後（介護・支援） のこと 53.2	自分の健康・医療のこと 48.1	家族の健康・医療のこと／ 家族の老後（介護・支援） のこと 41.7
	富良野東 ・麓郷中学校区	自分の健康・医療のこと 52.4	自分の老後（介護・支援） のこと 49.7	家族の健康・医療のこと 46.3
	布部中学校区	自分の健康・医療のこと 58.3	家族の健康・医療のこと 54.2	収入など経済的なこと 50.0
	山部中学校区	自分の老後（介護・支援） のこと 51.6	自分の健康・医療のこと 41.9	地震や洪水などの災害に 関すること 35.5
	樹海中学校区	家族の健康・医療のこと／家族の老後（介護・支援） のこと 50.0	自分の健康・医療のこと／ 自分の老後（介護・支援） のこと／収入など経済的 なこと 42.9	

(6) ボランティアや近隣住民に手助けしてほしいこと

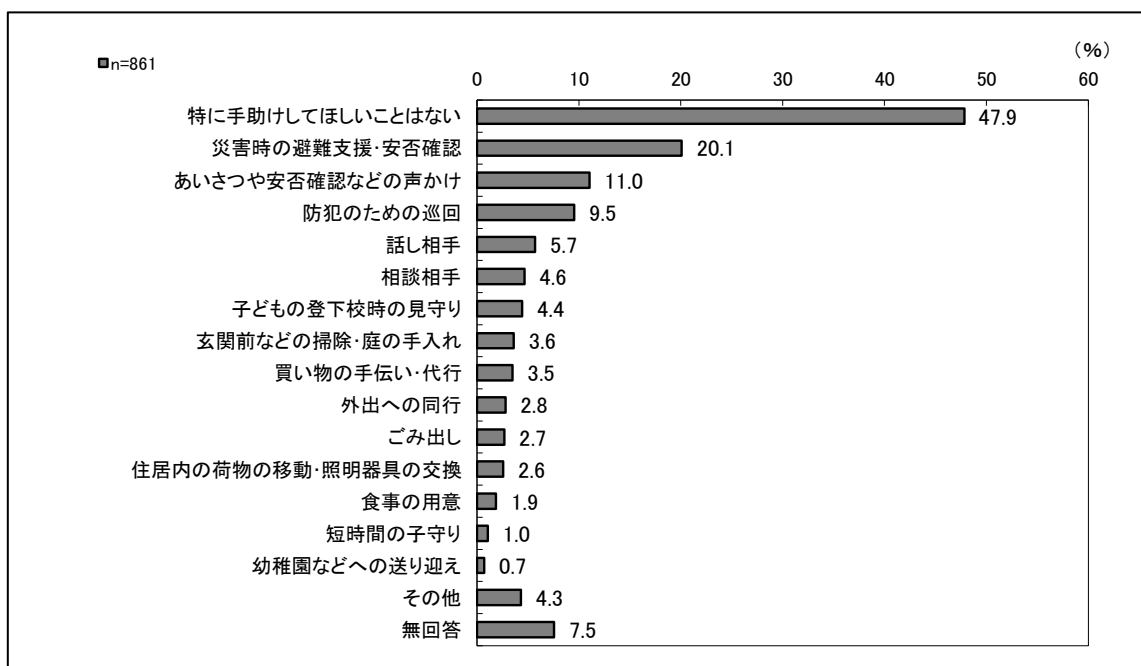
問 13 今後、近所付き合いの中で、ボランティアや近隣住民に「手助けしてほしい」と思うことはありますか。(あてはまるものすべてに○)【複数回答】

- 「特に手助けしてほしいことはない」が他を大きく引き離して最も多い。

ボランティアや近隣住民に手助けしてほしいことについてたずねたところ、「特に手助けしてほしいことはない」(47.9%)が最も多くなっている。手助けしてほしいことがある人の中では、「災害時の避難支援・安否確認」(20.1%)、「あいさつや安否確認などの声かけ」(11.0%)、「防犯のための巡回」(9.5%)、「話し相手」(5.7%)、「相談相手」(4.6%)、「子どもの登下校時の見守り」(4.4%)、「玄関前などの掃除・庭の手入れ」(3.6%)、「買い物の手伝い・代行」(3.5%)、「外出への同行」(2.8%)、「ごみ出し」(2.7%)などの順となっている。

属性別にみると、ほとんどの属性で「災害時の避難支援・安否確認」が第2位となっているが、30代では「子どもの登下校時の見守り」が第2位となっている。

図表 ボランティアや近隣住民に手助けしてほしいこと（全体／複数回答）



図表 ボランティアや近隣住民に手助けしてほしいこと
 (全体・性別・年齢・居住地区－上位第3項目／複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		特に手助けしてほしいこと とはない 47.9	災害時の避難支援・安否確認 20.1	あいさつや安否確認などの声かけ 11.0
性別	男性	特に手助けしてほしいこと とはない 54.3	災害時の避難支援・安否確認 18.1	防犯のための巡回 8.8
	女性	特に手助けしてほしいこと とはない 43.7	災害時の避難支援・安否確認 21.6	あいさつや安否確認などの声かけ 13.3
年齢	10代・20代	特に手助けしてほしいこと とはない 63.3	災害時の避難支援・安否確認 13.3	防犯のための巡回 8.3
	30代	特に手助けしてほしいこと とはない 47.7	子どもの登下校時の見守り 21.5	防犯のための巡回 13.8
	40代	特に手助けしてほしいこと とはない 57.6	災害時の避難支援・安否確認 15.2	子どもの登下校時の見守り 10.4
	50代	特に手助けしてほしいこと とはない 61.0	災害時の避難支援・安否確認 16.2	防犯のための巡回 11.0
	60代	特に手助けしてほしいこと とはない 52.0	災害時の避難支援・安否確認 26.3	防犯のための巡回 9.9
	70歳以上	特に手助けしてほしいこと とはない 34.3	災害時の避難支援・安否確認 23.9	あいさつや安否確認などの声かけ 17.9
居住地区	富良野西中学校区	特に手助けしてほしいこと とはない 51.3	災害時の避難支援・安否確認 21.5	あいさつや安否確認などの声かけ 10.9
	富良野東・麓郷中学校区	特に手助けしてほしいこと とはない 46.8	災害時の避難支援・安否確認 21.1	防犯のための巡回 12.1
	布部中学校区	特に手助けしてほしいこと とはない 54.2	災害時の避難支援・安否確認 20.8	外出への同行 12.5
	山部中学校区	特に手助けしてほしいこと とはない 50.0	災害時の避難支援・安否確認 19.4	あいさつや安否確認などの声かけ 12.9
	樹海中学校区	特に手助けしてほしいこと とはない 39.3	あいさつや安否確認などの声かけ／災害時の避難支援・安否確認	10.7

(7) 日常生活の不安や悩みを誰に相談しようと思うか

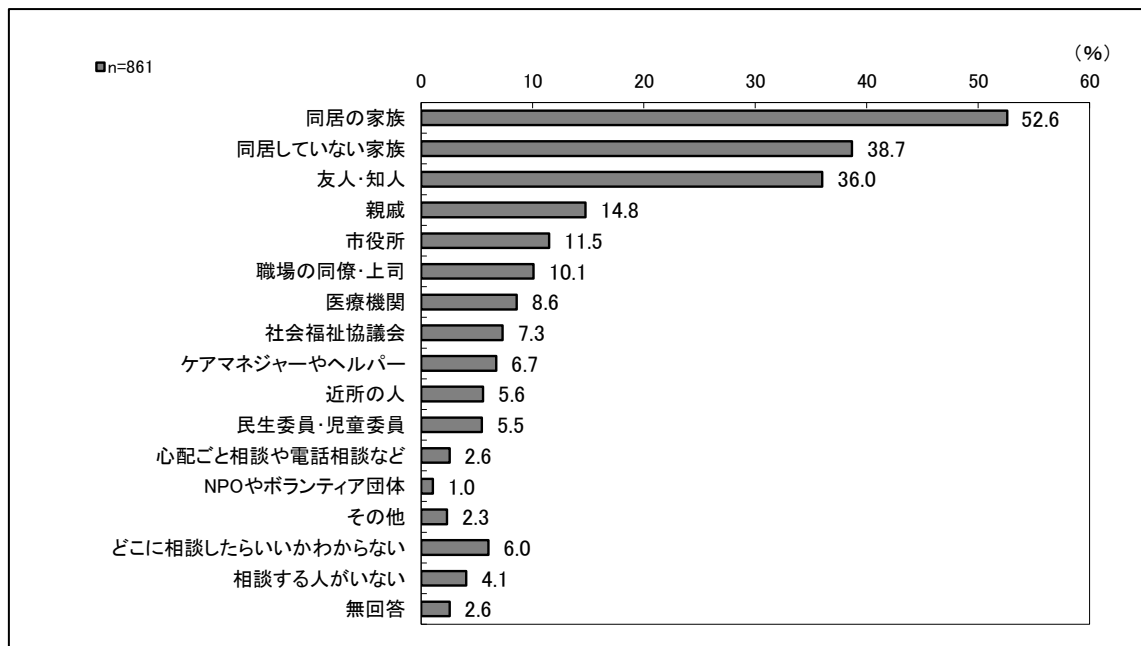
問 14 あなたは日常生活の不安や悩みを、誰（どこ）に相談しようと思いますか。（あてはまるものすべてに○）【複数回答】

- 「同居の家族」が第1位。「同居していない家族」、「友人・知人」、「親戚」などが続く。

日常生活の不安や悩みを誰に相談しようと思うかについては、「同居の家族」（52.6%）が最も多く、次いで「同居していない家族」（38.7%）、「友人・知人」（36.0%）、「親戚」（14.8%）、「市役所」（11.5%）、「職場の同僚・上司」（10.1%）、「医療機関」（8.6%）、「社会福祉協議会」（7.3%）、「ケアマネジャーやヘルパー」（6.7%）、「近所の人」（5.6%）、「民生委員・児童委員」（5.5%）などの順となっている。なお、「どこに相談したらいいかわからない」は6.0%、「相談する人がいない」は4.1%となっている。

年齢で見ると、10代・20代では「友人・知人」が第1位となっているが、その他の年齢層ではいずれも「同居の家族」が第1位となっている。

図表 日常生活の不安や悩みを誰に相談しようと思うか（全体／複数回答）



図表 日常生活の不安や悩みを誰に相談しようと思うか
 (全体・性別・年齢・居住地区－上位第3項目／複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		同居の家族 52.6	同居していない家族 38.7	友人・知人 36.0
性別	男性	同居の家族 52.9	同居していない家族 33.5	友人・知人 31.6
	女性	同居の家族 53.1	同居していない家族 43.9	友人・知人 39.8
年齢	10代・20代	友人・知人 66.7	同居の家族 51.7	同居していない家族 46.7
	30代	同居の家族 78.5	友人・知人 63.1	同居していない家族 55.4
	40代	同居の家族 55.2	友人・知人 49.6	同居していない家族 26.4
	50代	同居の家族 57.4	友人・知人 41.2	同居していない家族 37.5
	60代	同居の家族 52.0	同居していない家族 35.5	友人・知人 27.0
	70歳以上	同居の家族 45.3	同居していない家族 40.9	友人・知人 22.0
居住地区	富良野西中学校区	同居の家族 50.6	同居していない家族 43.3	友人・知人 41.0
	富良野東・麓郷中学校区	同居の家族 56.8	同居していない家族 38.9	友人・知人 33.4
	布部中学校区	同居の家族 58.3	友人・知人 29.2	同居していない家族 20.8
	山部中学校区	同居の家族 51.6	友人・知人 37.1	同居していない家族 33.9
	樹海中学校区	同居の家族 57.1	同居していない家族 39.3	友人・知人 28.6

(8) 福祉や健康に関する情報を十分に得られているか

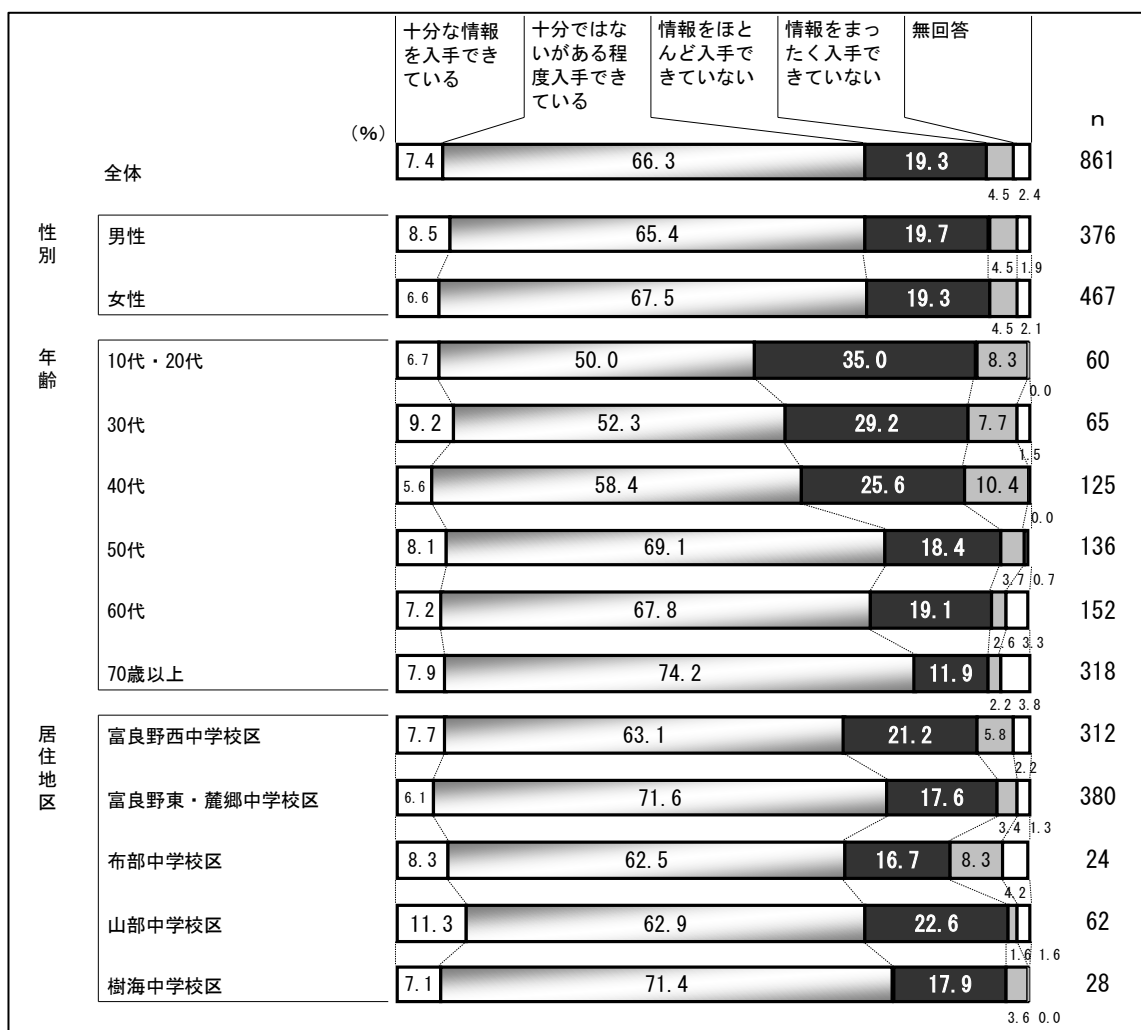
問 15 あなたは、福祉や健康に関する情報を十分に得られていますか。(1つに○)

- “入手できている”が7割強、“入手できていない”が2割強を占める。若年層ほど“入手できている”の割合が低い。

福祉や健康に関する情報を十分に得られているかたずねたところ、「十分な情報を入手できている」(7.4%)と「十分ではないがある程度入手できている」(66.3%)を合わせた“入手できている”が73.7%、「情報をほとんど入手できていない」(19.3%)と「情報をまったく入手できていない」(4.5%)を合わせた“入手できていない”が23.8%となっている。

年齢で見ると、40代以下では“入手できている”が5～6割台にとどまっているのに対し、50代以上ではいずれも7割以上を占めている。

図表 福祉や健康に関する情報を十分に得られているか



(9) 福祉についての情報や知識の入手方法

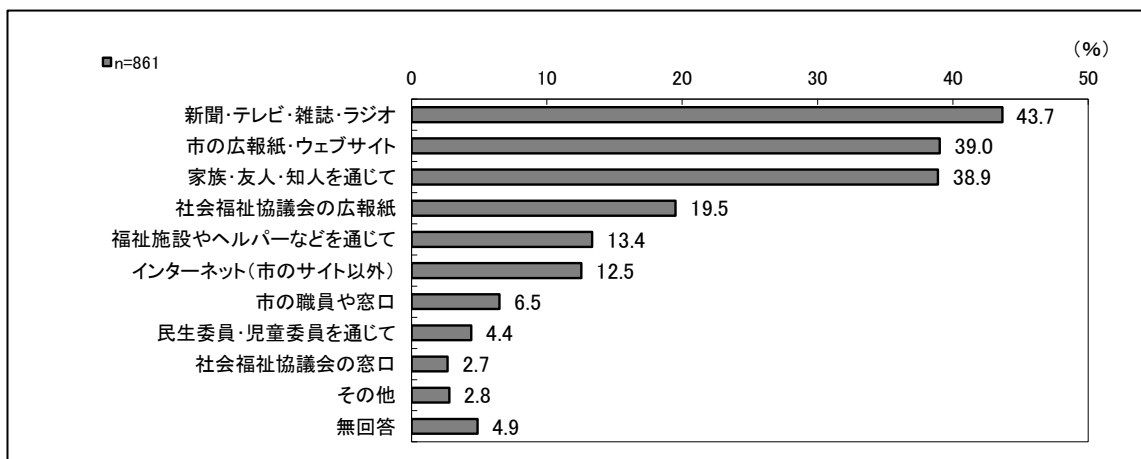
問 16 福祉についての情報や知識はどのようにして得ていますか。(あてはまるものすべてに○)【複数回答】

- 「新聞・テレビ・雑誌・ラジオ」が第1位。「市の広報紙・ウェブサイト」、「家族・友人・知人を通じて」、「社会福祉協議会の広報紙」などが続く。

福祉についての情報や知識の入手方法については、「新聞・テレビ・雑誌・ラジオ」(43.7%)が最も多く、次いで「市の広報紙・ウェブサイト」(39.0%)、「家族・友人・知人を通じて」(38.9%)、「社会福祉協議会の広報紙」(19.5%)、「福祉施設やヘルパーなどを通じて」(13.4%)、「インターネット(市のサイト以外)」(12.5%)、「市の職員や窓口」(6.5%)、「民生委員・児童委員を通じて」(4.4%)、「社会福祉協議会の窓口」(2.7%)の順となっている。

年齢で見ると、10代・20代では「家族・友人・知人を通じて」が第1位となっているのに対し、30代と40代では「市の広報紙・ウェブサイト」が第1位となっている。60代以上では「新聞・テレビ・雑誌・ラジオ」が第1位となっている。50代では「家族・友人・知人を通じて」と「新聞・テレビ・雑誌・ラジオ」が同率で第1位となっている。

図表 福祉についての情報や知識の入手方法(全体/複数回答)



図表 福祉についての情報や知識の入手方法
 (全体・性別・年齢・居住地区－上位第3項目／複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		新聞・テレビ・雑誌・ラジオ 43.7	市の広報紙・ウェブサイト 39.0	家族・友人・知人を通じて 38.9
性別	男性	新聞・テレビ・雑誌・ラジオ 43.1	市の広報紙・ウェブサイト 39.6	家族・友人・知人を通じて 35.4
	女性	新聞・テレビ・雑誌・ラジオ 44.3	家族・友人・知人を通じて 42.4	市の広報紙・ウェブサイト 39.0
年齢	10代・20代	家族・友人・知人を通じて 51.7	市の広報紙・ウェブサイト／インターネット（市のサイト以外） 33.3	
	30代	市の広報紙・ウェブサイト 49.2	家族・友人・知人を通じて 41.5	新聞・テレビ・雑誌・ラジオ 32.3
	40代	市の広報紙・ウェブサイト 53.6	新聞・テレビ・雑誌・ラジオ 36.0	家族・友人・知人を通じて 29.6
	50代	家族・友人・知人を通じて／新聞・テレビ・雑誌・ラジオ 40.4		市の広報紙・ウェブサイト 37.5
	60代	新聞・テレビ・雑誌・ラジオ 55.3	市の広報紙・ウェブサイト 40.1	家族・友人・知人を通じて 34.9
	70歳以上	新聞・テレビ・雑誌・ラジオ 48.1	家族・友人・知人を通じて 41.5	市の広報紙・ウェブサイト 32.7
居住地区	富良野西中学校区	新聞・テレビ・雑誌・ラジオ 44.2	市の広報紙・ウェブサイト 41.0	家族・友人・知人を通じて 38.8
	富良野東・麓郷中学校区	新聞・テレビ・雑誌・ラジオ 45.0	家族・友人・知人を通じて／市の広報紙・ウェブサイト 41.3	
	布部中学校区	新聞・テレビ・雑誌・ラジオ 45.8	家族・友人・知人を通じて 41.7	市の広報紙・ウェブサイト 33.3
	山部中学校区	新聞・テレビ・雑誌・ラジオ 51.6	家族・友人・知人を通じて 43.5	市の広報紙・ウェブサイト 30.6
	樹海中学校区	家族・友人・知人を通じて 39.3	市の広報紙・ウェブサイト 35.7	新聞・テレビ・雑誌・ラジオ 25.0

(10) 福祉や健康について知りたい情報

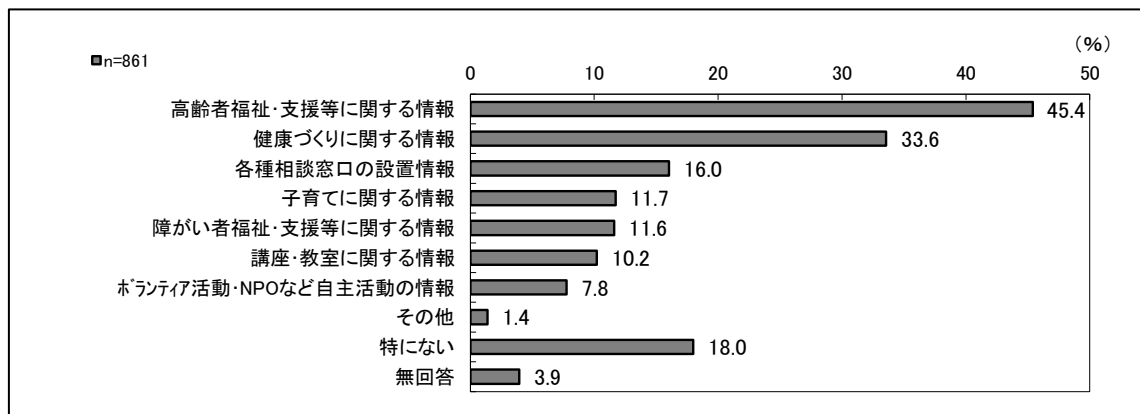
問 17 あなたは、福祉や健康についてどのような情報を知りたいですか。(あてはまるものすべてに○)【複数回答】

- 「高齢者福祉・支援等に関する情報」が第1位。「健康づくりに関する情報」、「各種相談窓口の設置情報」、「子育てに関する情報」などが続く。

福祉や健康について知りたい情報については、「高齢者福祉・支援等に関する情報」(45.4%)が最も多く、次いで「健康づくりに関する情報」(33.6%)、「各種相談窓口の設置情報」(16.0%)、「子育てに関する情報」(11.7%)、「障がい者福祉・支援等に関する情報」(11.6%)、「講座・教室に関する情報」(10.2%)、「ボランティア活動・NPOなど自主活動の情報」(7.8%)の順となっている。なお、「特にない」は18.0%となっている。

年齢で見ると、30代以下では「子育てに関する情報」が第1位となっているのに対し、40代では「健康づくりに関する情報」、50代以上では「高齢者福祉・支援等に関する情報」が第1位となっている。

図表 福祉や健康について知りたい情報（全体／複数回答）



図表 福祉や健康について知りたい情報
 (全体・性別・年齢・居住地区－上位第3項目／複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		高齢者福祉・支援等に関する情報 45.4	健康づくりに関する情報 33.6	各種相談窓口の設置情報 16.0
性別	男性	高齢者福祉・支援等に関する情報 43.1	健康づくりに関する情報 34.8	各種相談窓口の設置情報 17.0
	女性	高齢者福祉・支援等に関する情報 48.2	健康づくりに関する情報 32.3	各種相談窓口の設置情報 15.4
年齢	10代・20代	子育てに関する情報 43.3	健康づくりに関する情報 41.7	講座・教室に関する情報 20.0
	30代	子育てに関する情報 58.5	健康づくりに関する情報 40.0	各種相談窓口の設置情報 13.8
	40代	健康づくりに関する情報 32.8	高齢者福祉・支援等に関する情報 28.8	各種相談窓口の設置情報 26.4
	50代	高齢者福祉・支援等に関する情報 47.8	各種相談窓口の設置情報 27.9	健康づくりに関する情報 26.5
	60代	高齢者福祉・支援等に関する情報 51.3	健康づくりに関する情報 22.4	各種相談窓口の設置情報 19.7
	70歳以上	高齢者福祉・支援等に関する情報 61.0	健康づくりに関する情報 39.6	障がい者福祉・支援等に関する情報 13.2
居住地区	富良野西中学校区	高齢者福祉・支援等に関する情報 43.3	健康づくりに関する情報 31.7	各種相談窓口の設置情報 17.3
	富良野東・麓郷中学校区	高齢者福祉・支援等に関する情報 49.7	健康づくりに関する情報 35.3	各種相談窓口の設置情報 16.1
	布部中学校区	高齢者福祉・支援等に関する情報 58.3	健康づくりに関する情報 25.0	障がい者福祉・支援等に関する情報 16.7
	山部中学校区	高齢者福祉・支援等に関する情報 40.3	健康づくりに関する情報 30.6	各種相談窓口の設置情報 14.5
	樹海中学校区	高齢者福祉・支援等に関する情報 46.4	健康づくりに関する情報 39.3	各種相談窓口の設置情報 17.9

(11) 地域の暮らしについて

問 18 あなたが住んでいる地域の暮らしについてうかがいます。(それぞれあてはまるもの1つに○)

- 「(1) 近隣との付き合い」や「(4) 公園・緑地などの自然環境」、「(3) 近隣の生活マナーなどの生活環境」などは“満足”の割合が高い。
「(8) 交通機関などの便利さ」や「(9) 病院施設の充実度」、「(5) 買物などの便利さ」などは“不満”の割合が高くなっている。

地域の暮らしについてたずねたところ、以下のとおり。「満足」と「まあ満足」を合わせた“満足”の割合が高い項目は、「(1) 近隣との付き合い」(78.1%)、「(4) 公園・緑地などの自然環境」(64.7%)、「(3) 近隣の生活マナーなどの生活環境」(63.8%) などとなっている。

反対に、「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が高いのは、「(8) 交通機関などの便利さ」(55.4%)、「(9) 病院施設の充実度」(45.4%)、「(5) 買物などの便利さ」(36.9%) などとなっている。

図表 地域の暮らしについて

	満足	まあ満足	やや不満	不満	わからない	無回答	n
(1) 近隣との付き合い	13.4	64.7	6.3	10.8	1.9	3.0	861
(2) 自治会などの地域活動	9.2	49.5	9.2	24.2	2.1	5.9	861
(3) 近隣の生活マナーなどの生活環境	12.1	51.7	15.8	5.6	9.5	5.3	861
(4) 公園・緑地などの自然環境	14.4	50.3	11.3	6.4	11.0	6.6	861
(5) 買物などの便利さ	14.1	43.6	21.6	15.3	1.9	3.6	861
(6) 公的な手続きの便利さ	7.3	42.7	23.0	10.9	11.0	5.0	861
(7) 公共施設の使いやすさ	5.8	39.1	21.0	8.2	19.5	6.3	861
(8) 交通機関などの便利さ	5.1	26.9	28.6	26.8	8.1	4.4	861
(9) 病院施設の充実度	6.6	36.4	26.7	18.7	7.8	3.9	861
(10) 福祉・保健施設の充実度	4.1	33.6	17.8	8.6	30.4	5.6	861
(11) 福祉・保健サービスの相談体制	4.8	31.5	15.8	7.3	35.4	5.2	861
(12) 福祉・保健サービスの提供体制	4.3	29.5	16.4	7.2	36.4	6.3	861
(13) 地域の防災・防犯体制	3.5	33.2	20.3	7.9	30.2	4.9	861

3 地域活動・ボランティア活動について

(1) 地域活動やボランティア活動への参加状況

問 19 あなたは、地域での活動（自治会・子ども会・老人クラブなどのお住まいの地域を対象とした活動）やボランティア活動に参加していますか。（あてはまるもの1つに○）

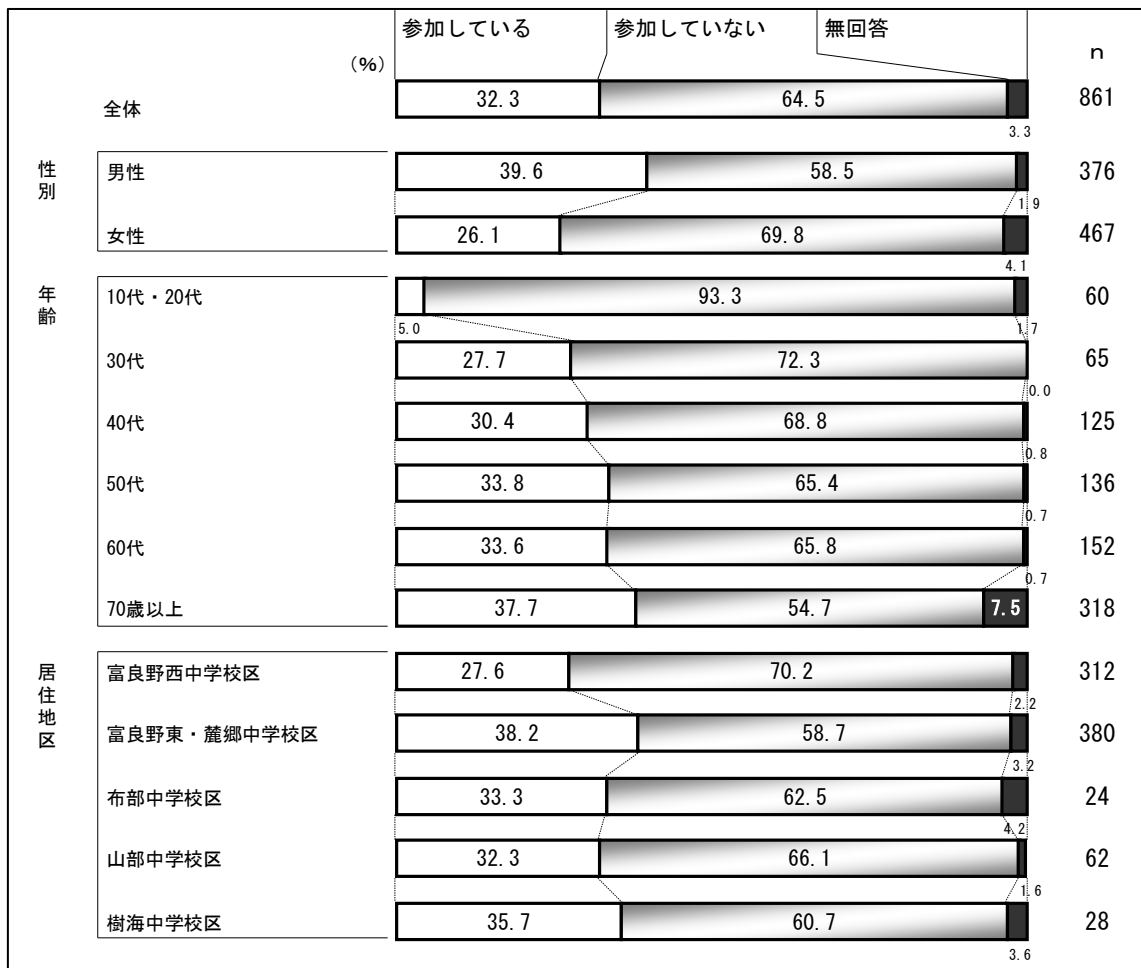
- 「参加していない」が7割弱、「参加している」が3割強を占める。

地域活動やボランティア活動への参加状況については、「参加していない」が64.5%、「参加している」が32.3%となっている。

性別でみると、男性では「参加している」が39.6%となっているのに対し、女性では「参加している」が26.1%と低くなっている。

年齢でみると、年齢が高くなるにつれて「参加している」の割合が高くなる傾向がうかがえる。10代・20代では「参加している」が1割に満たない。

図表 地域活動やボランティア活動への参加状況



(2) 参加している活動

【問 19-1 は、問 19 で「1. 参加している」と回答した方のみお答えください。】
問 19-1 あなたは、どのような活動に参加していますか。(あてはまるものすべてに○)
【複数回答】

- 「清掃・美化活動」と「自治会活動」が他を大きく引き離して上位を占める。

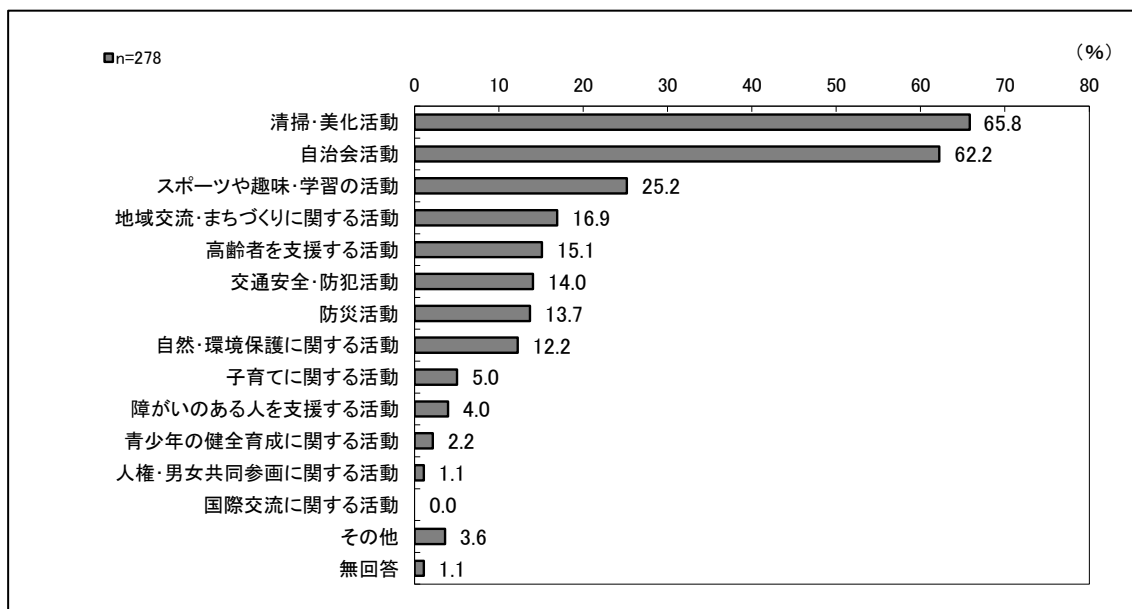
参加している活動については、「清掃・美化活動」(65.8%)が最も多く、次いで「自治会活動」(62.2%)、「スポーツや趣味・学習の活動」(25.2%)、「地域交流・まちづくりに関する活動」(16.9%)、「高齢者を支援する活動」(15.1%)、「交通安全・防犯活動」(14.0%)、「防災活動」(13.7%)、「自然・環境保護に関する活動」(12.2%)、「子育てに関する活動」(5.0%)、「障がいのある人を支援する活動」(4.0%)などの順となっている。

性別で見ると、男性では「自治会活動」が第1位となっているのに対し、女性では「清掃・美化活動」が第1位となっている。

年齢で見ると、30代、40代では「自治会活動」が第1位となっている。

居住地区で見ると、山部中学校区、樹海中学校区では「自治会活動」が第1位となっている。

図表 参加している活動（全体／複数回答）



図表 参加している活動

(全体・性別・年齢・居住地区－上位第3項目／複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		清掃・美化活動 65.8	自治会活動 62.2	スポーツや趣味・学習の活動 25.2
性別	男性	自治会活動 73.2	清掃・美化活動 71.1	スポーツや趣味・学習の活動 20.8
	女性	清掃・美化活動 59.8	自治会活動 49.2	スポーツや趣味・学習の活動 29.5
年齢	10代・20代	清掃・美化活動 66.7	自治会活動／地域交流・まちづくりに関する活動 33.3	
	30代	自治会活動／清掃・美化活動 44.4		子育てに関する活動／地域交流・まちづくりに関する活動 27.8
	40代	自治会活動 63.2	清掃・美化活動 47.4	スポーツや趣味・学習の活動 26.3
	50代	清掃・美化活動 71.7	自治会活動 65.2	防災活動 15.2
	60代	清掃・美化活動 70.6	自治会活動 68.6	地域交流・まちづくりに関する活動 17.6
	70歳以上	清掃・美化活動 71.7	自治会活動 61.7	スポーツや趣味・学習の活動 36.7
居住地区	富良野西中学校区	清掃・美化活動 67.4	自治会活動 60.5	スポーツや趣味・学習の活動 22.1
	富良野東・麓郷中学校区	清掃・美化活動 68.3	自治会活動 62.1	スポーツや趣味・学習の活動 24.8
	布部中学校区	清掃・美化活動 62.5	自治会活動 50.0	地域交流・まちづくりに関する活動 37.5
	山部中学校区	自治会活動 75.0	清掃・美化活動 70.0	スポーツや趣味・学習の活動 40.0
	樹海中学校区	自治会活動 70.0	清掃・美化活動 40.0	自然・環境保護に関する活動 30.0

(3) 参加していない理由

【問 19-2 は問 19 で「2. 参加していない」と回答した方のみお答えください。】
 問 19-2 あなたが、地域活動やボランティア活動に参加していない理由は何ですか。
 (あてはまるものすべてに○)【複数回答】

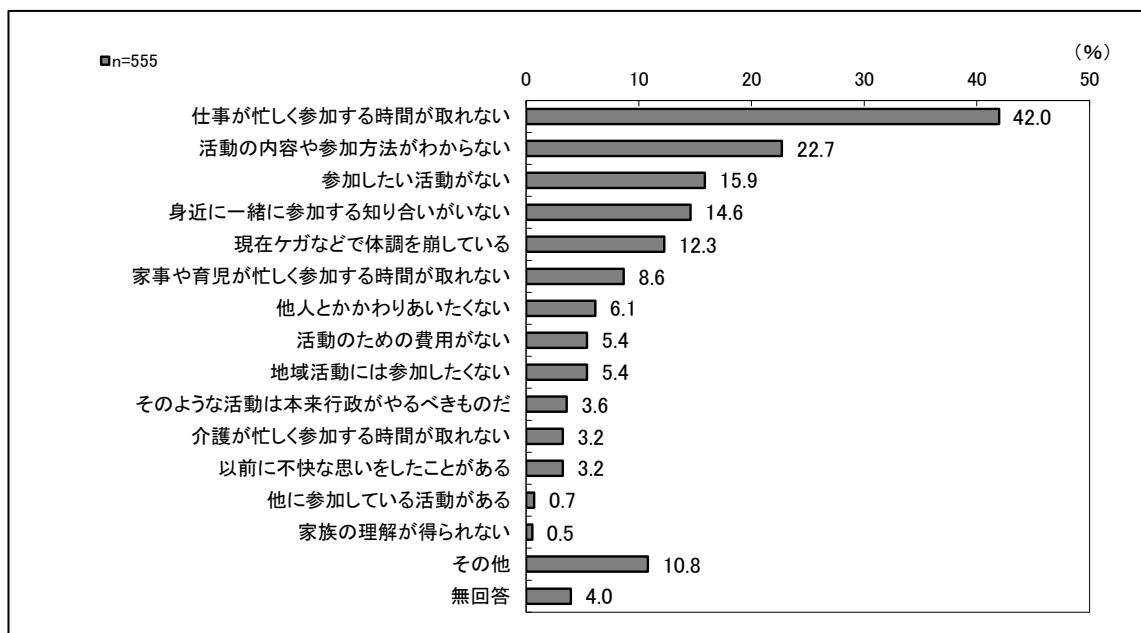
- 「仕事が忙しく参加する時間が取れない」が第1位。「活動の内容や参加方法がわからない」、「参加したい活動がない」、「身近に一緒に参加する知り合いがない」などが続く。

参加していない理由については、「仕事が忙しく参加する時間が取れない」(42.0%)が最も多く、次いで「活動の内容や参加方法がわからない」(22.7%)、「参加したい活動がない」(15.9%)、「身近に一緒に参加する知り合いがない」(14.6%)、「現在ケガなどで体調を崩している」(12.3%)、「家事や育児が忙しく参加する時間が取れない」(8.6%)、「他人とかかわりあいたくない」(6.1%)、「活動のための費用がない」・「地域活動には参加したくない」(同率5.4%)、「そのような活動は本来行政がやるべきものだ」(3.6%)、「介護が忙しく参加する時間が取れない」・「以前に不快な思いをしたことがある」(同率3.2%)などの順となっている。

年齢で見ると、ほとんどの年齢層で「仕事が忙しく参加する時間が取れない」が第1位となっているのに対し、70歳以上では「現在ケガなどで体調を崩している」が第1位となっている。

居住地区で見ると、布部中学校区では「参加したい活動がない」が第1位となっている。

図表 参加していない理由（全体／複数回答）



図表 参加していない理由

(全体・性別・年齢・居住地区—上位第3項目／複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		仕事が忙しく参加する時間が取れない 42.0	活動の内容や参加方法がわからない 22.7	参加したい活動がない 15.9
性別	男性	仕事が忙しく参加する時間が取れない 50.9	活動の内容や参加方法がわからない 24.5	参加したい活動がない 16.4
	女性	仕事が忙しく参加する時間が取れない 36.5	活動の内容や参加方法がわからない 21.5	参加したい活動がない／身近に一緒に参加する知り合いがいない 15.6
年齢	10代・20代	仕事が忙しく参加する時間が取れない 46.4	活動の内容や参加方法がわからない 30.4	参加したい活動がない 21.4
	30代	仕事が忙しく参加する時間が取れない 48.9	家事や育児が忙しく参加する時間が取れない 34.0	活動の内容や参加方法がわからない 31.9
	40代	仕事が忙しく参加する時間が取れない 72.1	活動の内容や参加方法がわからない 25.6	家事や育児が忙しく参加する時間が取れない 18.6
	50代	仕事が忙しく参加する時間が取れない 64.0	活動の内容や参加方法がわからない 23.6	参加したい活動がない 15.7
	60代	仕事が忙しく参加する時間が取れない 43.0	活動の内容や参加方法がわからない 24.0	参加したい活動がない 19.0
	70歳以上	現在ケガなどで体調を崩している 27.6	活動の内容や参加方法がわからない 14.9	参加したい活動がない 13.2
居住地区	富良野西中学校区	仕事が忙しく参加する時間が取れない 45.7	活動の内容や参加方法がわからない 28.3	身近に一緒に参加する知り合いがいない 18.7
	富良野東・麓郷中学校区	仕事が忙しく参加する時間が取れない 44.8	活動の内容や参加方法がわからない 21.1	現在ケガなどで体調を崩している 13.0
	布部中学校区	参加したい活動がない 33.3	現在ケガなどで体調を崩している 26.7	仕事が忙しく参加する時間が取れない／以前に不快な思いをしたことがある 20.0
	山部中学校区	仕事が忙しく参加する時間が取れない 31.7	活動の内容や参加方法がわからない／現在ケガなどで体調を崩している 24.4	
	樹海中学校区	仕事が忙しく参加する時間が取れない 41.2	参加したい活動がない／現在ケガなどで体調を崩している 23.5	

(4) 今後の地域活動やボランティア活動への参加意向

問 20 あなたは今後、地域活動やボランティア活動に参加したいと思いますか。(1つに○)

● “参加したい”が4割強、“参加したいとは思わない”が4割弱を占める。

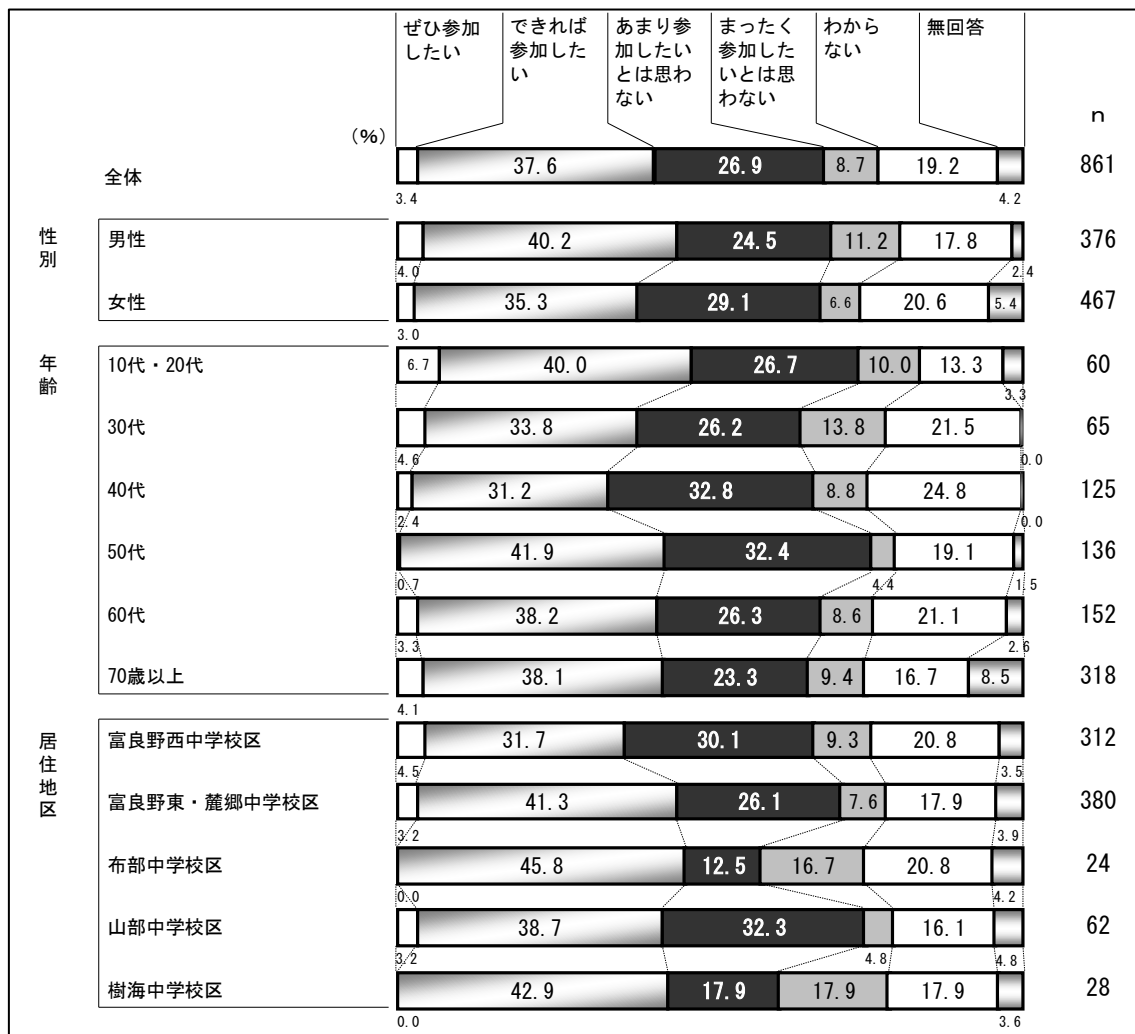
今後の地域活動やボランティア活動への参加意向については、「ぜひ参加したい」(3.4%)と「できれば参加したい」(37.6%)を合わせた“参加したい”が41.0%、「あまり参加したいとは思わない」(26.9%)と「まったく参加したいとは思わない」(8.7%)を合わせた“参加したいとは思わない”が35.6%となっている。なお、「わからない」は19.2%となっている。

性別でみると、男性では“参加したい”が46.7%、女性が38.3%と、女性より男性の参加意向が高いことがうかがえる。

年齢でみると、30代、40代では“参加したい”が4割未満となっている。

居住地区でみると、富良野西中学校区以外では“参加したい”が4割以上を占めている。

図表 今後の地域活動やボランティア活動への参加意向



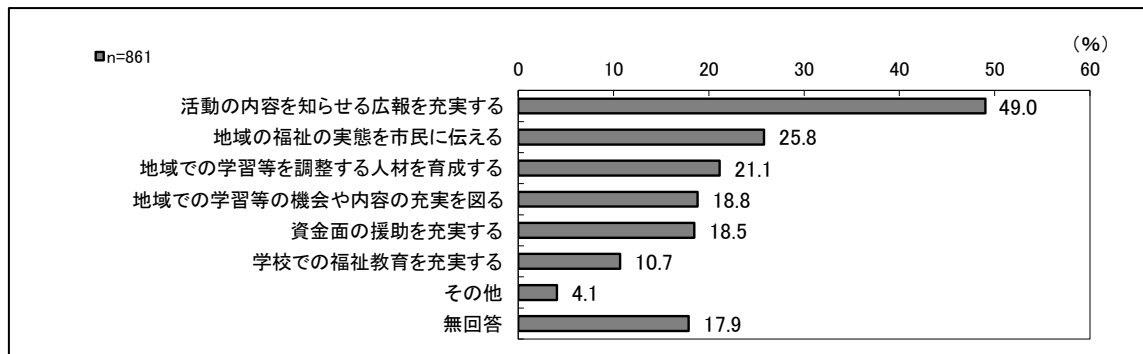
(5) 地域活動やボランティア活動を広げるために重要なこと

問 21 地域活動やボランティア活動の輪を広げるために、今後どのようなことが重要だと思 1 ますか。(あてはまるものすべてに○)【複数回答】

- 「活動の内容を知らせる広報を充実する」が他を大きく引き離して第 1 位。

地域活動やボランティア活動を広げるために重要なことについては、「活動の内容を知らせる広報を充実する」(49.0%)が最も多く、次いで「地域の福祉の実態を市民に伝える」(25.8%)、「地域での学習等を調整する人材を育成する」(21.1%)、「地域での学習等の機会や内容の充実を図る」(18.8%)、「資金面の援助を充実する」(18.5%)、「学校での福祉教育を充実する」(10.7%)の順となっている。

図表 地域活動やボランティア活動を広げるために重要なこと (全体/複数回答)



図表 地域活動やボランティア活動を拡大するために重要なこと
 (全体・性別・年齢・居住地区－上位第3項目／複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		活動の内容を知らせる広報を充実する 49.0	地域の福祉の実態を市民に伝える 25.8	地域での学習等を調整する人材を育成する 21.1
性別	男性	活動の内容を知らせる広報を充実する 50.3	地域の福祉の実態を市民に伝える 25.8	地域での学習等を調整する人材を育成する 23.1
	女性	活動の内容を知らせる広報を充実する 49.3	地域の福祉の実態を市民に伝える 26.1	地域での学習等を調整する人材を育成する 19.3
年齢	10代・20代	活動の内容を知らせる広報を充実する 55.0	地域の福祉の実態を市民に伝える 26.7	資金面の援助を充実する 21.7
	30代	活動の内容を知らせる広報を充実する 52.3	地域での学習等を調整する人材を育成する 29.2	資金面の援助を充実する 26.2
	40代	活動の内容を知らせる広報を充実する 51.2	地域の福祉の実態を市民に伝える 29.6	地域での学習等を調整する人材を育成する／資金面の援助を充実する 24.8
	50代	活動の内容を知らせる広報を充実する 60.3	地域での学習等を調整する人材を育成する 30.1	資金面の援助を充実する 25.7
	60代	活動の内容を知らせる広報を充実する 53.9	地域の福祉の実態を市民に伝える 30.3	地域での学習等を調整する人材を育成する 25.0
	70歳以上	活動の内容を知らせる広報を充実する 39.6	地域の福祉の実態を市民に伝える 22.6	地域での学習等の機会や内容の充実を図る 14.8
	居住地区	富良野西中学校区	活動の内容を知らせる広報を充実する 48.1	地域の福祉の実態を市民に伝える 31.1
富良野東・麓郷中学校区		活動の内容を知らせる広報を充実する 52.9	地域の福祉の実態を市民に伝える 22.1	資金面の援助を充実する 20.3
布部中学校区		活動の内容を知らせる広報を充実する 33.3	資金面の援助を充実する 20.8	地域での学習等を調整する人材を育成する 16.7
山部中学校区		活動の内容を知らせる広報を充実する 64.5	地域の福祉の実態を市民に伝える 32.3	地域での学習等を調整する人材を育成する 21.0
樹海中学校区		活動の内容を知らせる広報を充実する／地域での学習等を調整する人材を育成する 25.0	地域の福祉の実態を市民に伝える 21.4	

4 災害時の対応について

(1) 災害発生時の避難場所を知っているか

問 22 あなたは、地震や水害などの災害が発生した場合の避難場所を知っていますか。
(1つに○)

- 「知っている」が7割強、「知らない」が3割弱を占める。

災害発生時の避難場所を知っているかたずねたところ、「知っている」が70.6%、「知らない」が26.1%となっている。

年齢で見ると、40代では「知っている」が76.8%と、他の年齢層に比べて高くなっている。

図表 災害発生時の避難場所を知っているか

		(%)	知っている	知らない	無回答	n
性別	全体		70.6	26.1	3.3	861
	男性		73.1	24.2	2.7	376
	女性		69.0	27.2	3.9	467
年齢	10代・20代		61.7	36.7	1.7	60
	30代		64.6	35.4	0.0	65
	40代		76.8	23.2	0.0	125
	50代		69.1	29.4	1.5	136
	60代		69.1	28.3	2.6	152
	70歳以上		72.6	20.8	6.6	318
	居住地区	富良野西中学校区		68.6	28.8	2.6
富良野東・麓郷中学校区			73.2	23.2	3.7	380
布部中学校区			66.7	29.2	4.2	24
山部中学校区			71.0	25.8	3.2	62
樹海中学校区			75.0	21.4	3.6	28

(2) 避難の際に手助けしてくれる人はいるか

問 23 地震や水害などの災害が発生した場合、避難するのに手助けをしてくれる人はいますか。(1つに○)

- 「いる」が5割強、「いない」が2割弱を占める。「ひとりで避難できる」は3割弱を占める。

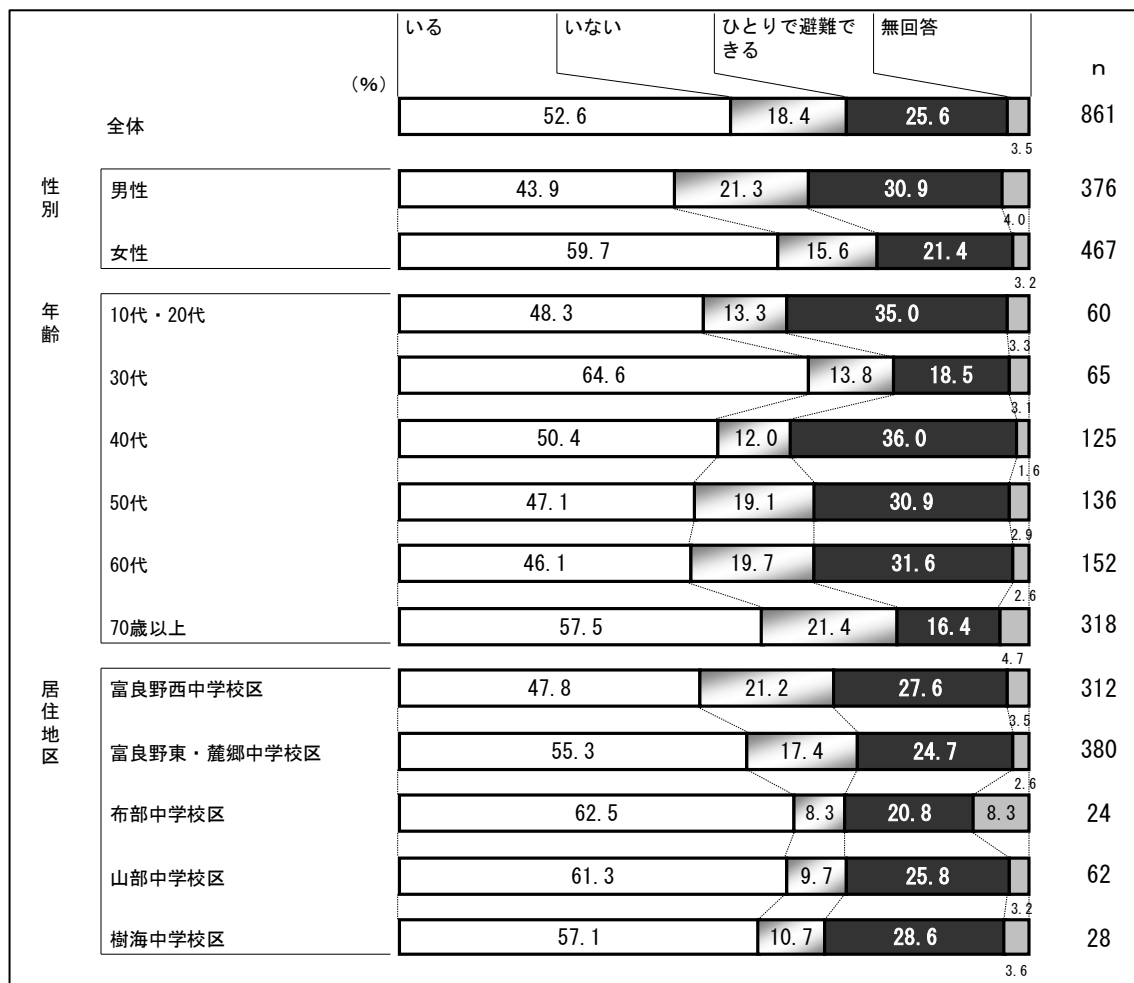
避難の際に手助けしてくれる人はいるかどうかたずねたところ、「いる」が52.6%、「ひとりで避難できる」が25.6%、「いない」が18.4%となっている。

性別で見ると、男性では「いる」が43.9%となっているのに対し、女性では「いる」が59.7%と男性の割合を上回っている。

年齢で見ると、30代では「いる」が64.6%と、他の年齢層に比べて高くなっている。

居住地区で見ると、布部中学校区、山部中学校区では「いる」が6割強を占めているのに対し、富良野西中学校区では5割弱にとどまっている。

図表 避難の際に手助けしてくれる人はいるか



(3) 避難の手助けをしてくれる人

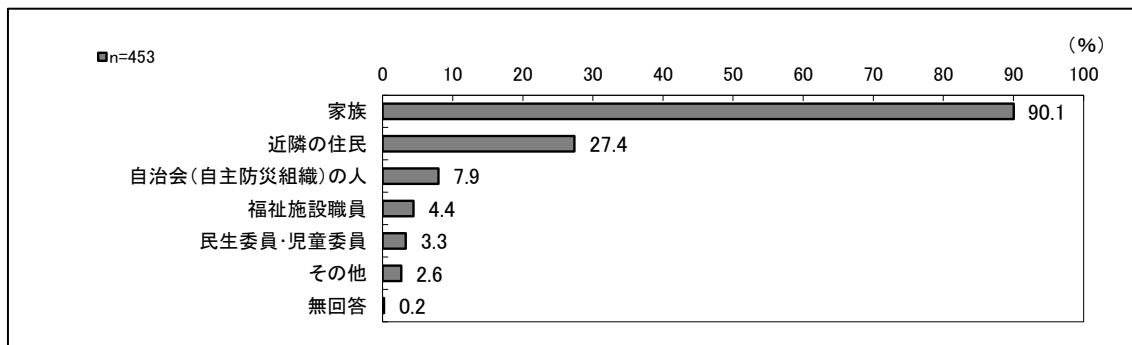
【問 23-1 は問 23 で「1. いる」と回答した方のみお答えください。】
問 23-1 避難の手助けをしてくれる人は、どのような人ですか。
(あてはまるものすべてに○)【複数回答】

- 「家族」が他を大きく引き離して第1位。

避難の手助けをしてくれる人についてたずねたところ、「家族」(90.1%)が最も多く、次いで「近隣の住民」(27.4%)、「自治会(自主防災組織)の人」(7.9%)、「福祉施設職員」(4.4%)、「民生委員・児童委員」(3.3%)の順となっている。

属性別でも、いずれの属性でも「家族」が第1位、「近隣の住民」が第2位となっている。

図表 避難の手助けをしてくれる人(全体/複数回答)



図表 避難の手助けをしてくれる人

(全体・性別・年齢・居住地区－上位第3項目／複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		家族 90.1	近隣の住民 27.4	自治会（自主防災組織）の人 7.9
性別	男性	家族 87.9	近隣の住民 40.0	自治会（自主防災組織）の人 15.2
	女性	家族 91.8	近隣の住民 19.4	自治会（自主防災組織）の人／福祉施設職員 3.9
年齢	10代・20代	家族 100.0	近隣の住民 20.7	自治会（自主防災組織）の人 3.4
	30代	家族 92.9	近隣の住民 23.8	福祉施設職員 4.8
	40代	家族 95.2	近隣の住民 20.6	自治会（自主防災組織）の人 7.9
	50代	家族 87.5	近隣の住民 23.4	福祉施設職員 9.4
	60代	家族 91.4	近隣の住民 30.0	自治会（自主防災組織）の人 7.1
	70歳以上	家族 86.9	近隣の住民 32.2	自治会（自主防災組織）の人 10.9
居住地区	富良野西中学校区	家族 91.3	近隣の住民 23.5	自治会（自主防災組織）の人 8.1
	富良野東・麓郷中学校区	家族 93.8	近隣の住民 28.1	自治会（自主防災組織）の人 7.6
	布部中学校区	家族 93.3	近隣の住民 26.7	自治会（自主防災組織）の人 13.3
	山部中学校区	家族 84.2	近隣の住民 44.7	福祉施設職員 10.5
	樹海中学校区	家族 87.5	近隣の住民 18.8	民生委員・児童委員／自治会（自主防災組織）の人／福祉施設職員 6.3

5 権利擁護について

(1) 虐待や家庭内暴力の通報義務を知っているか

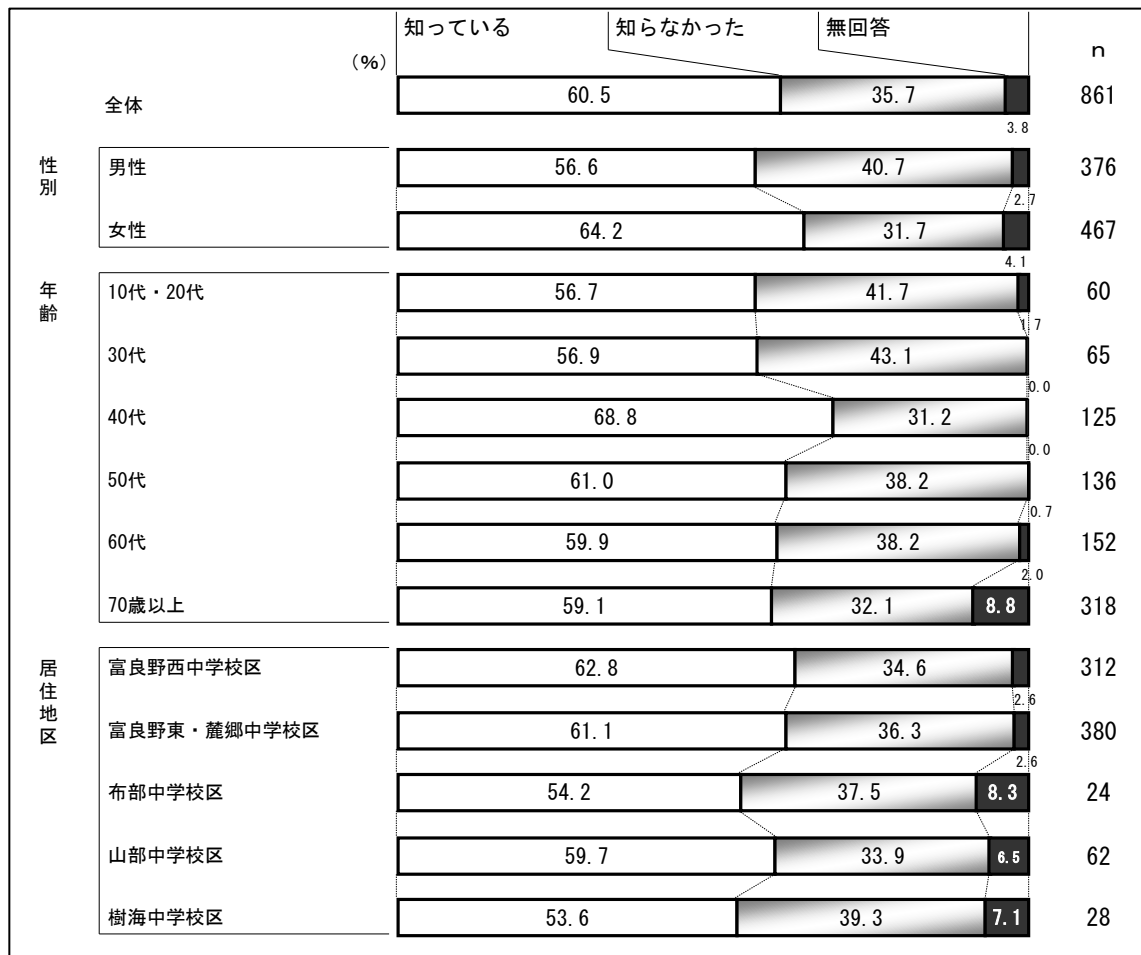
問 24 あなたは、児童や高齢者への虐待、家庭内暴力を知った場合に、町など公的機関に速やかに通報する義務が町民にあることをご存知でしたか。(1つに○)

- 「知っている」が6割強、「知らなかった」が4割弱を占める。

虐待や家庭内暴力の通報義務を知っているかどうかたずねたところ、「知っている」が60.5%、「知らなかった」が35.7%となっている。

年齢で見ると、40代では「知っている」が68.8%と他の年齢層に比べて高くなっている。

図表 虐待や家庭内暴力の通報義務を知っているか



(2) 成年後見制度を知っているか

問 25 あなたは、成年後見制度についてどの程度ご存知ですか。(1つに○)

- 「存在は知っているが内容までは知らない」が5割強を占める。

成年後見制度を知っているかどうかについては、「存在は知っているが内容までは知らない」が54.5%、「存在と内容ともに知っている」が21.5%、「存在することを知らなかった」が19.5%となっている。

年齢で見ると、若い世代ほど「存在することを知らなかった」の割合が高くなる傾向がうかがえる。

図表 成年後見制度を知っているか

		存在と内容とも 知っている				存在は知っ ているが内容ま では知らない		存在するこ とを知らな かった		無回答		n
		21.5				54.5		19.5		4.5		
		(%)										
性別	全体	21.5	54.5	19.5	4.5	861						
	男性	21.3	55.9	20.2	2.7	376						
	女性	22.1	53.3	19.3	5.4	467						
年齢	10代・20代	23.3	45.0	30.0	1.7	60						
	30代	24.6	47.7	27.7	0.0	65						
	40代	23.2	54.4	20.8	1.6	125						
	50代	24.3	58.1	16.9	0.7	136						
	60代	21.7	60.5	15.1	2.6	152						
	70歳以上	18.9	52.8	18.6	9.7	318						
	居住地	富良野西中学校区	22.8	53.8	19.2	4.2	312					
富良野東・麓郷中学校区		19.2	58.4	18.9	3.4	380						
布部中学校区		37.5	29.2	29.2	4.2	24						
山部中学校区		22.6	56.5	16.1	4.8	62						
樹海中学校区		25.0	42.9	25.0	7.1	28						

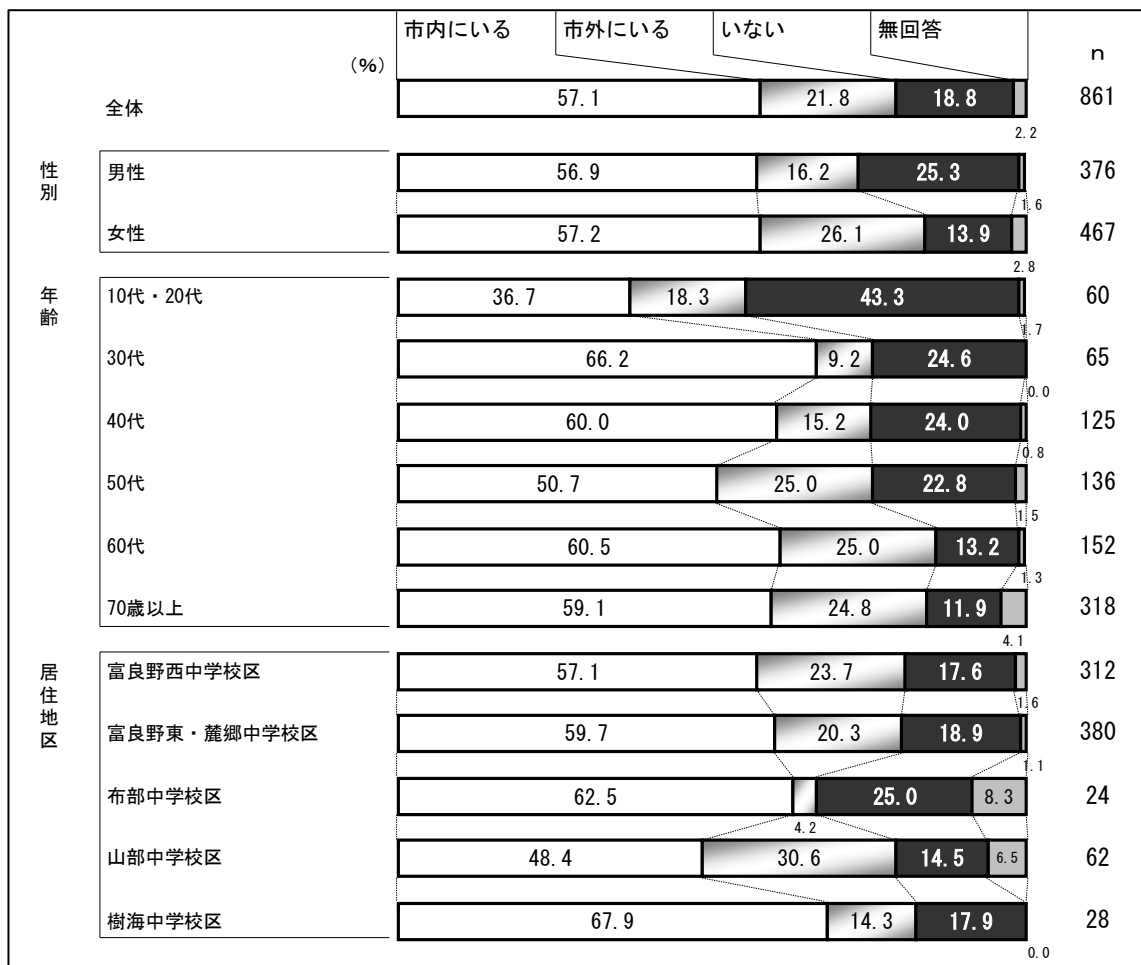
(3) 判断能力が低下した時に契約や金銭の管理をする人はいるか

問 26 あなたの判断能力が低下した時（認知症になった時など）、契約や金銭の管理をしてくれる人はいますか。（1つに○）

- 「市内にいる」が6割弱、「市外にいる」が2割強を占める。「いない」は2割弱を占める。

判断能力が低下した時に契約や金銭の管理をする人はいるかどうかたずねたところ、「市内にいる」が57.1%、「市外にいる」が21.8%、「いない」が18.8%となっている。性別で見ると、女性では「いない」が13.9%となっているのに対し、男性では「いない」が25.3%と、女性の割合を上回っている。居住地区で見ると、布部中学校区では「いない」が25.0%となっており、他の地区よりも割合が高くなっている。

図表 判断能力が低下した時に契約や金銭の管理をする人はいるか



(4) 日常生活自立支援事業を知っているか

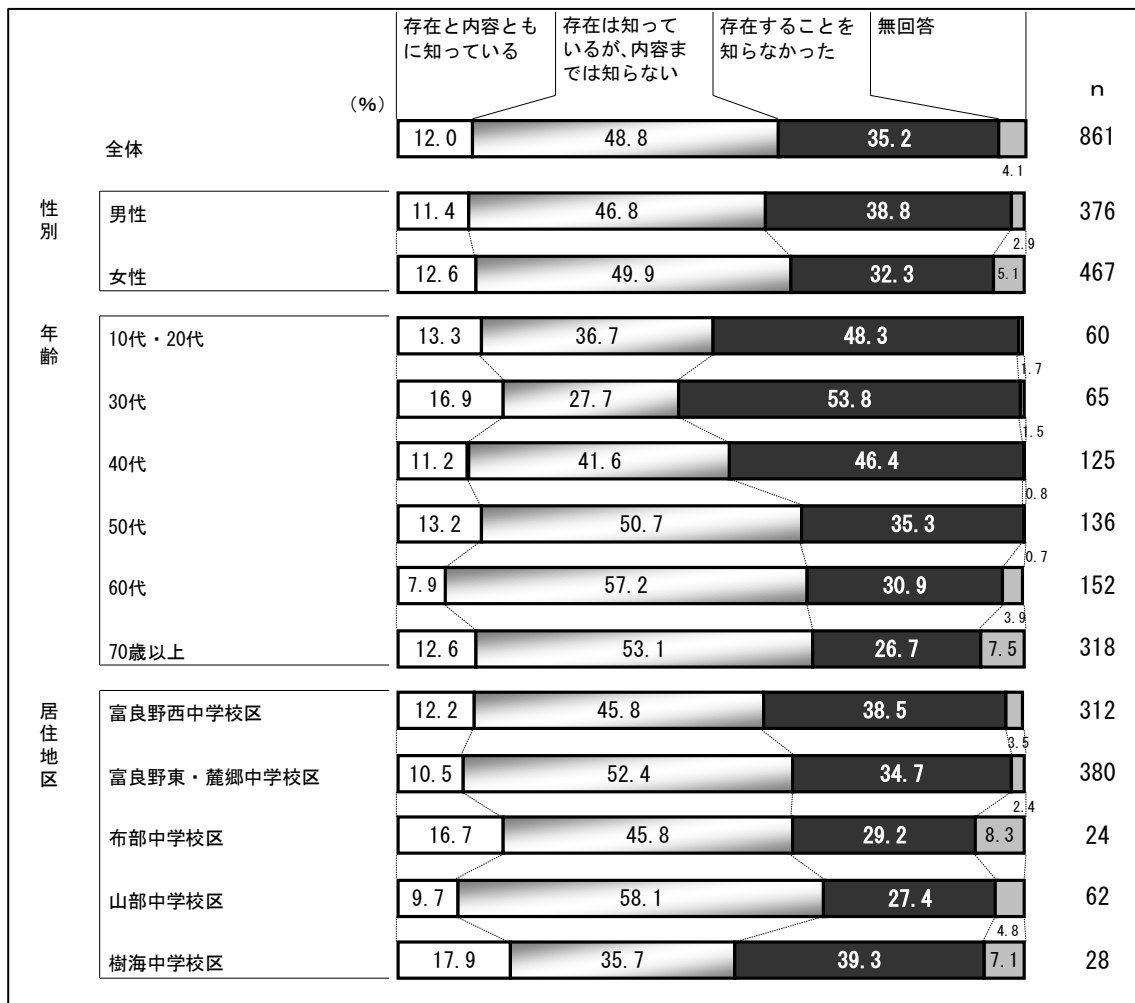
問 27 あなたは、日常生活自立支援事業についてどの程度ご存知ですか。(1つに○)

- 「存在は知っているが、内容までは知らない」が5割弱、「存在することを知らなかった」が4割弱を占める。

日常生活自立支援事業を知っているかどうかについては、「存在は知っているが、内容までは知らない」が48.8%、「存在することを知らなかった」が35.2%、「存在と内容ともに知っている」が12.0%となっている。

年齢で見ると、30代では「存在することを知らなかった」が5割以上を占めている。また、ほとんどの年齢層で「存在と内容ともに知っている」は1割台にとどまっておられ、60代では1割に満たない結果となっている。

図表 日常生活自立支援事業を知っているか



6 民生委員・児童委員、社会福祉協議会について

(1) 民生委員・児童委員という名前や制度を知っているか

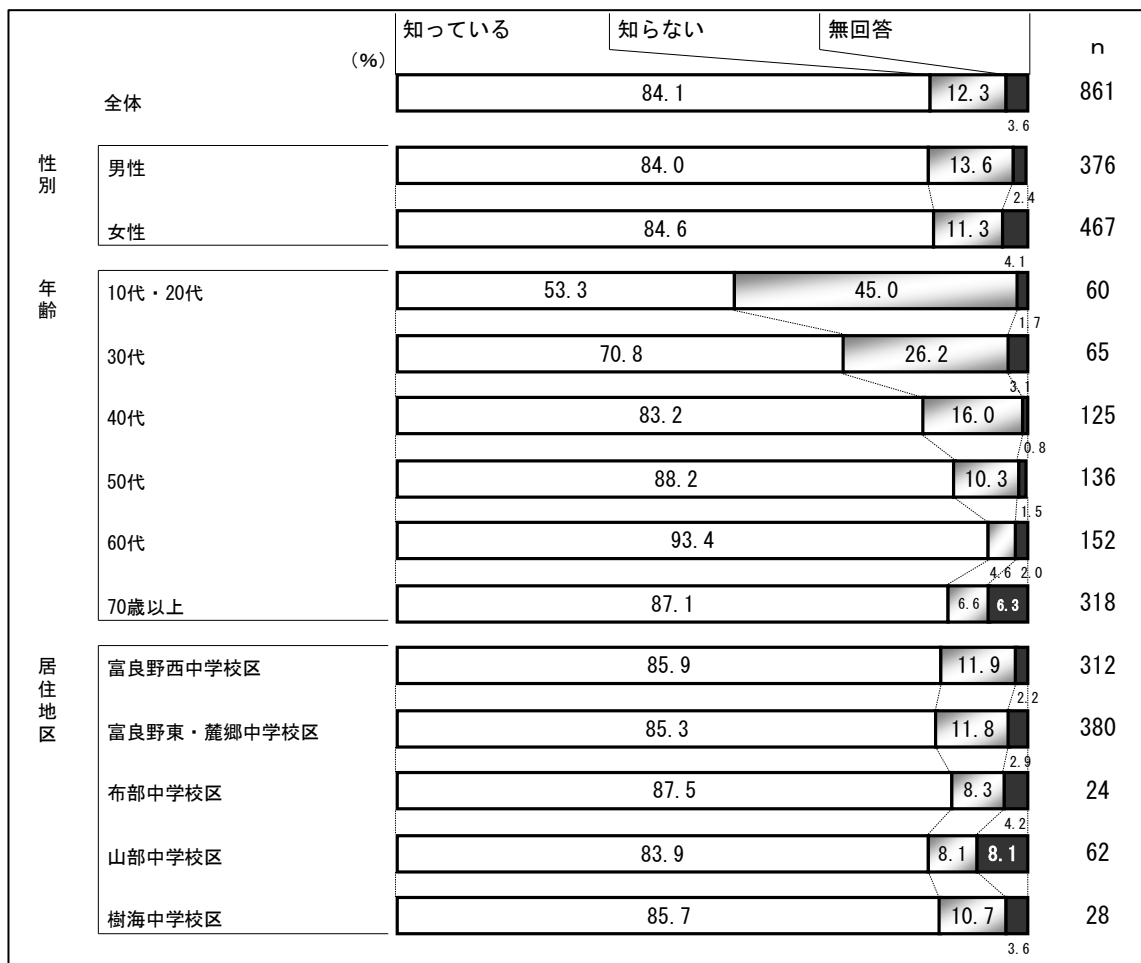
問 28 あなたは、民生委員・児童委員という名前や制度を知っていますか。(1つに○)

- 「知っている」が8割強を占める。

民生委員・児童委員の名前や制度を知っているかたずねたところ、「知っている」が84.1%、「知らない」が12.3%となっている。

年齢で見ると、10代・20代では「知らない」が45.0%を占めており、半数近い回答者が民生委員・児童委員について認知していないことがうかがえる。また、高齢になるにつれて「知っている」の割合が高くなる傾向がうかがえる。

図表 民生委員・児童委員という名前や制度を知っているか



(2) 地区の民生委員・児童委員が誰か知っているか

【問 28-1 は、問 28 で「1. 知っている」と回答した方のみにお聞きします。
 問 28-1 あなたがお住まいの地区の民生委員・児童委員の方が誰か知っていますか。
 (1つに○)

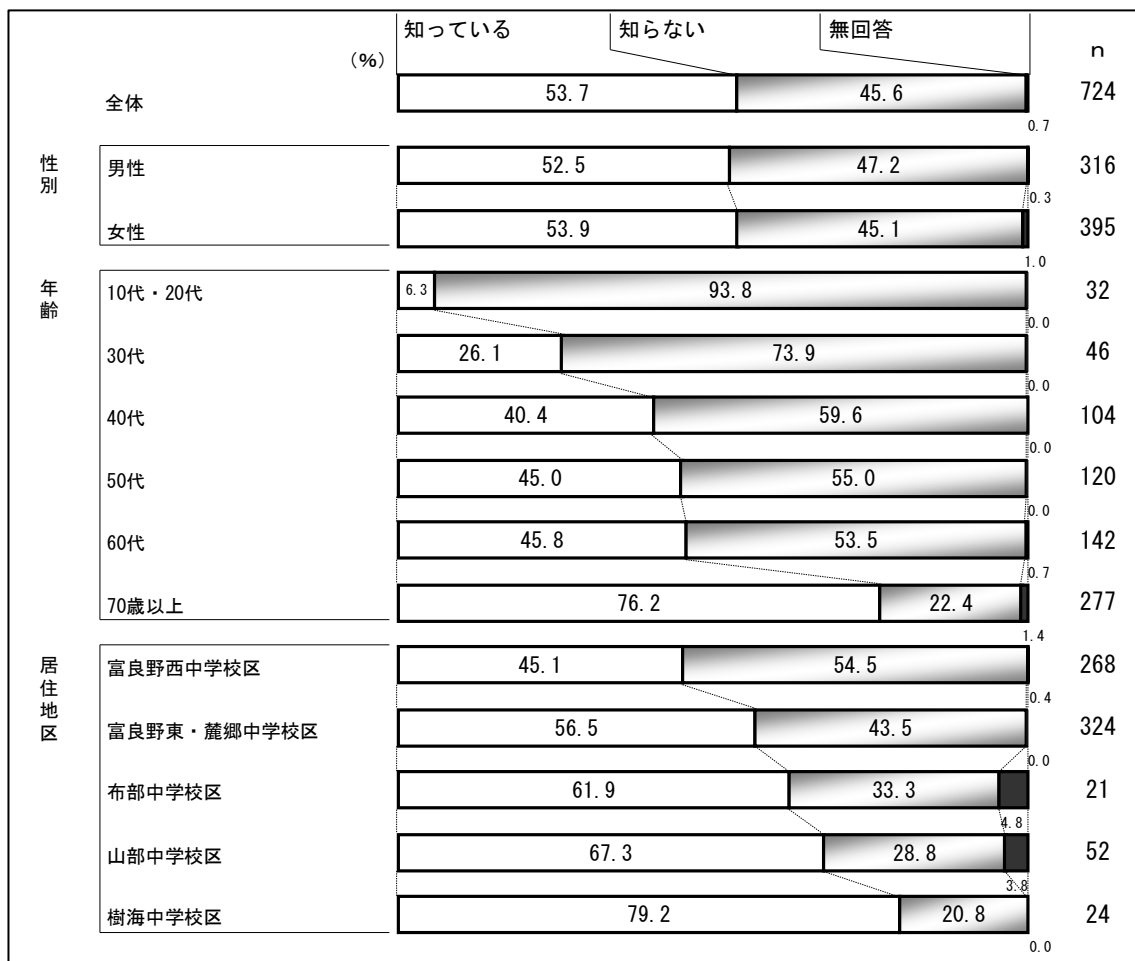
- 「知っている」が5割強、「知らない」が5割弱を占める。

地区の民生委員・児童委員が誰か知っているかたずねたところ、「知っている」が53.7%、「知らない」が45.6%となっている。

年齢で見ると、高齢になるにつれて「知っている」の割合が高くなる傾向がうかがえる。70歳以上では「知っている」が76.2%となっているのに対し、10代・20代では6.3%にとどまっている。

居住地区で見ると、富良野西中学校区では「知っている」が5割未満となっているが、それ以外の地区では「知っている」が5割以上を占めている。樹海中学校区では「知っている」が8割弱を占める。

図表 地区の民生委員・児童委員が誰か知っているか



(3) 富良野市社会福祉協議会を知っているか

問 29 あなたは、富良野市社会福祉協議会を知っていますか。(1つに○)

- 「名前は知っているが活動は知らない」が5割強、「名前も活動も知っている」が3割強を占める。「名前も活動も知らない」は1割に満たない。

富良野市社会福祉協議会を知っているかどうかたずねたところ、「名前は知っているが活動は知らない」が51.5%、「名前も活動も知っている」が34.7%、「名前も活動も知らない」が7.2%となっている。

性別でみると、男性では「名前も活動も知っている」が39.4%となっているのに対し、女性では31.3%となっている。

年齢でみると、10代・20代では「名前も活動も知らない」が3割弱を占めるほか、30代でも1割強を占めている。

居住地区でみると、布部中学校区では「名前も活動も知っている」が5割強を占めている。

図表 富良野市社会福祉協議会を知っているか

		名前も活動も知っている	名前は知っているが活動は知らない	名前も活動も知らない	無回答	n
		(%)				
全体		34.7	51.5	7.2	6.6	861
性別	男性	39.4	47.6	7.2	5.9	376
	女性	31.3	54.8	7.5	6.4	467
年齢	10代・20代	18.3	55.0	26.7	0.0	60
	30代	27.7	58.5	12.3	1.5	65
	40代	36.0	54.4	7.2	2.4	125
	50代	33.8	59.6	2.9	3.7	136
	60代	32.2	55.9	5.3	6.6	152
	70歳以上	40.6	42.8	5.3	11.3	318
居住地区	富良野西中学校区	34.0	54.8	7.1	4.2	312
	富良野東・麓郷中学校区	34.5	53.2	5.5	6.8	380
	布部中学校区	54.2	33.3	8.3	4.2	24
	山部中学校区	41.9	45.2	8.1	4.8	62
	樹海中学校区	39.3	35.7	10.7	14.3	28

(4) 富良野市社会福祉協議会に期待すること

問 30 富良野市社会福祉協議会に期待することはどんなことですか。(あてはまるものすべてに○)【複数回答】

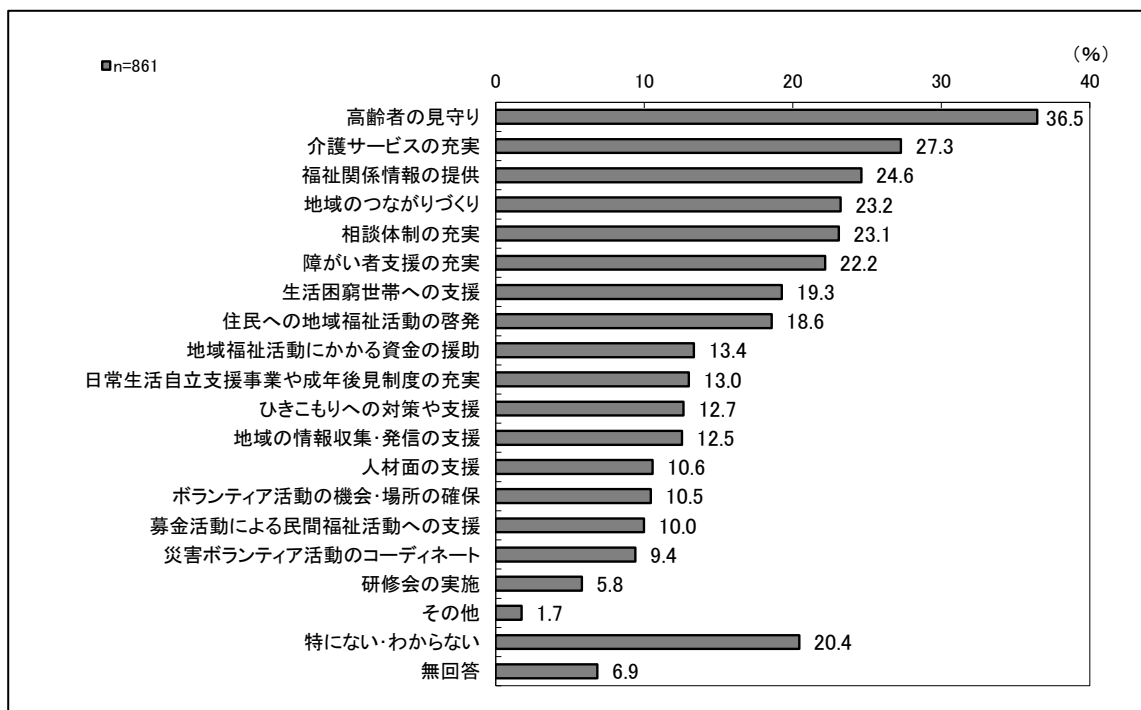
- 「高齢者の見守り」が第1位。「介護サービスの充実」、「福祉関係情報の提供」、「地域のつながりづくり」などが続く。

富良野市社会福祉協議会に期待することについては、「高齢者の見守り」(36.5%)が最も多く、次いで「介護サービスの充実」(27.3%)、「福祉関係情報の提供」(24.6%)、「地域のつながりづくり」(23.2%)、「相談体制の充実」(23.1%)、「障がい者支援の充実」(22.2%)、「生活困窮世帯への支援」(19.3%)、「住民への地域福祉活動の啓発」(18.6%)、「地域福祉活動にかかる資金の援助」(13.4%)、「日常生活自立支援事業や成年後見制度の充実」(13.0%)、「ひきこもりへの対策や支援」(12.7%)、「地域の情報収集・発信の支援」(12.5%)、「人材面の支援」(10.6%)、「ボランティア活動の機会・場所の確保」(10.5%)、「募金活動による民間福祉活動への支援」(10.0%)、「災害ボランティア活動のコーディネート」(9.4%)などの順となっている。なお、「特にない・わからない」は20.4%となっている。

年齢で見ると、30代では「福祉関係情報の提供」が第1位となっている。

居住地区で見ると、樹海中学校区では「介護サービスの充実」と「高齢者の見守り」が同率で第1位となっている。

図表 富良野市社会福祉協議会に期待すること (全体/複数回答)



図表 富良野市社会福祉協議会に期待すること
 (全体・性別・年齢・居住地区－上位第3項目／複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		高齢者の見守り 36.5	介護サービスの充実 27.3	福祉関係情報の提供 24.6
性別	男性	高齢者の見守り 34.6	相談体制の充実 25.3	障がい者支援の充実 25.0
	女性	高齢者の見守り 38.3	介護サービスの充実 30.6	福祉関係情報の提供 26.6
年齢	10代・20代	高齢者の見守り 33.3	地域のつながりづくり／福祉関係情報の提供 23.3	
	30代	福祉関係情報の提供 23.1	介護サービスの充実／高齢者の見守り 21.5	
	40代	高齢者の見守り 38.4	相談体制の充実 33.6	障がい者支援の充実 29.6
	50代	高齢者の見守り 36.0	介護サービスの充実 29.4	相談体制の充実 27.2
	60代	高齢者の見守り 34.9	介護サービスの充実 32.9	福祉関係情報の提供 25.0
	70歳以上	高齢者の見守り 40.6	地域のつながりづくり 28.0	介護サービスの充実 27.4
居住地区	富良野西中学校区	高齢者の見守り 36.2	介護サービスの充実 29.2	福祉関係情報の提供 28.5
	富良野東・麓郷中学校区	高齢者の見守り 39.7	介護サービスの充実 26.8	福祉関係情報の提供 25.8
	布部中学校区	高齢者の見守り 33.3	地域のつながりづくり 20.8	福祉関係情報の提供／募 金活動による民間福祉活 動への支援／障がい者支 援の充実 16.7
	山部中学校区	高齢者の見守り 37.1	介護サービスの充実 30.6	生活困窮世帯への支援 24.2
	樹海中学校区	介護サービスの充実／高齢者の見守り 35.7		地域のつながりづくり 28.6

7 福祉全般について

(1) 福祉サービスの現状について

問 31 あなたは、福祉サービスの現状についてどのようにお考えですか。(1つに○)



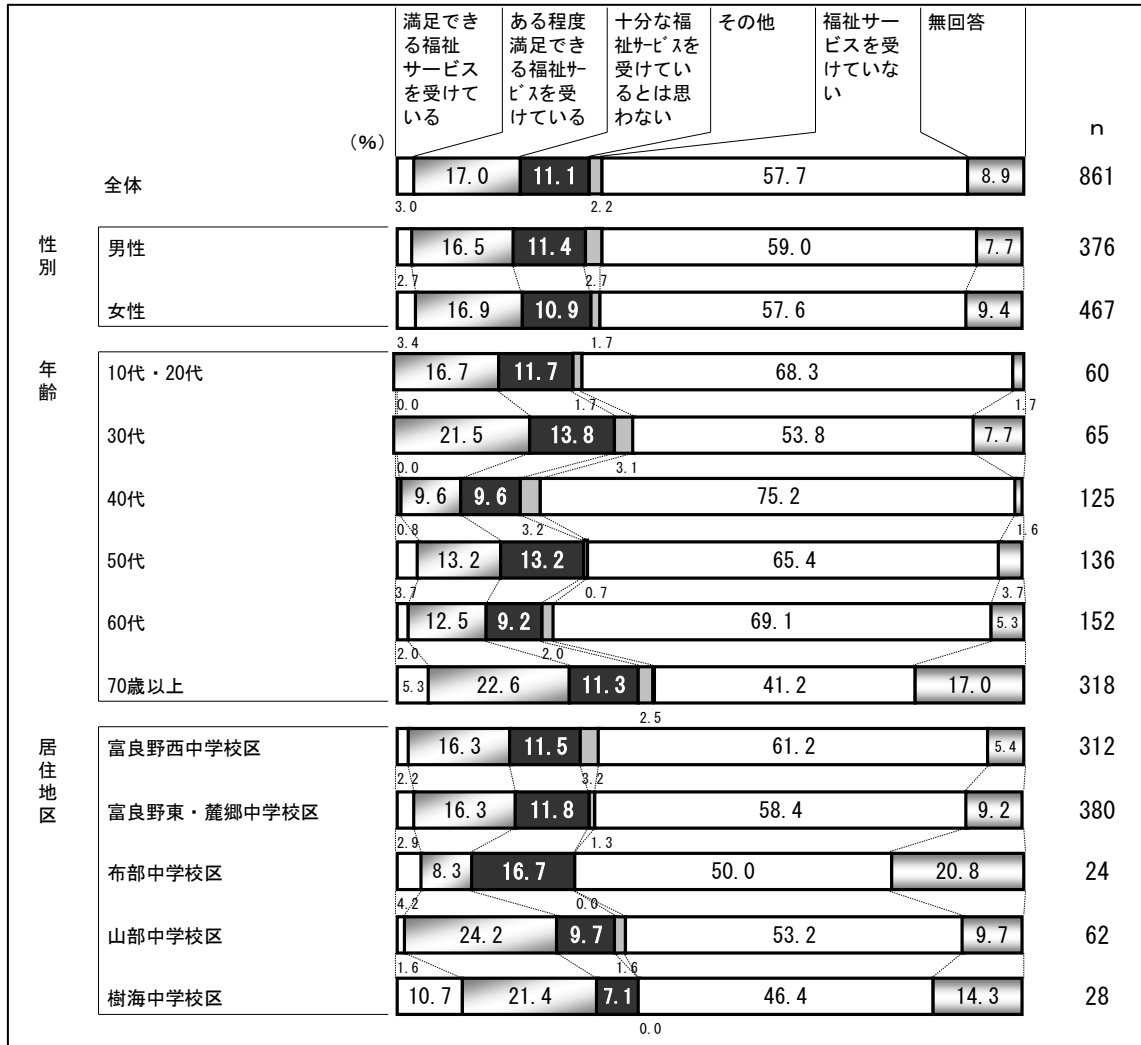
- 2割の回答者が一定以上の満足感を得ているのに対し、1割強の回答者が何らかの不満を感じている。

福祉サービスの現状についてたずねたところ、「満足できる福祉サービスを受けている」が3.0%、「ある程度満足できる福祉サービスを受けている」が17.0%となっており、2割の回答者が一定以上の満足感を示しているのに対し、「十分な福祉サービスを受けているとは思わない」が11.1%と、1割以上が何らかの不満を感じている。なお、「福祉サービスを受けていない」は57.7%となっている。

年齢で見ると、30代と50代では「十分な福祉サービスを受けているとは思わない」がともに13%台を占めており、他の年齢層に比べて高い割合を示している。

また、居住地区で見ると、布部中学校区では「十分な福祉サービスを受けているとは思わない」が16.7%と他の地区に比べて高い値を示している。

図表 福祉サービスの現状について



(2) 地域福祉の基盤整備を進めるために優先すべきこと

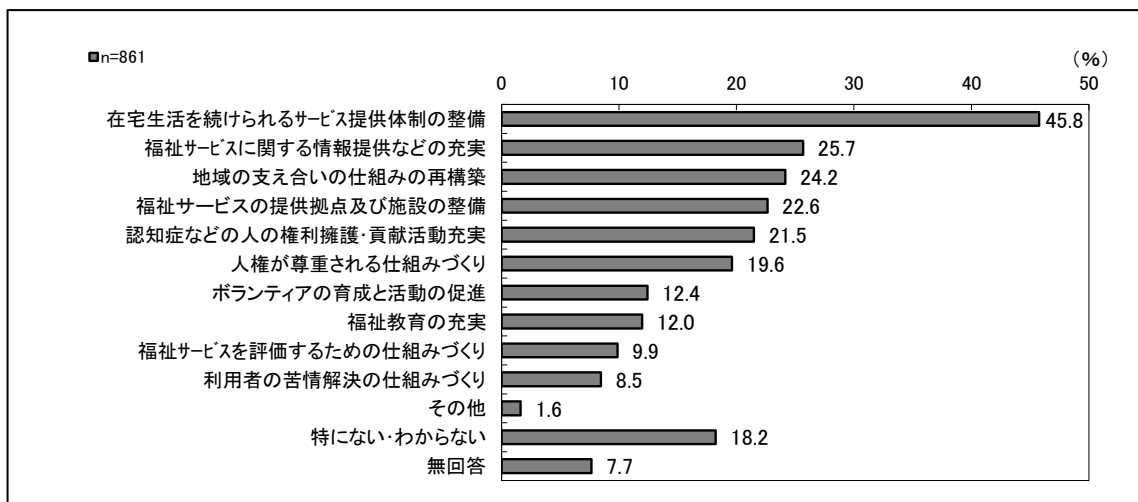
問 32 地域福祉の基盤整備を進めていくために、優先した方が良いと思うことはどれですか。(あてはまるものすべてに○)【複数回答】

- 「在宅生活を続けられるサービス提供体制の整備」が第1位。「福祉サービスに関する情報提供などの充実」、「地域の支え合いの仕組みの再構築」、「福祉サービスの提供拠点及び施設の整備」などが続く。

地域福祉の基盤整備を進めるために優先すべきことについては、「在宅生活を続けられるサービス提供体制の整備」(45.8%)が最も多く、次いで「福祉サービスに関する情報提供などの充実」(25.7%)、「地域の支え合いの仕組みの再構築」(24.2%)、「福祉サービスの提供拠点及び施設の整備」(22.6%)、「認知症などの人の権利擁護・貢献活動充実」(21.5%)、「人権が尊重される仕組みづくり」(19.6%)、「ボランティアの育成と活動の促進」(12.4%)、「福祉教育の充実」(12.0%)、「福祉サービスを評価するための仕組みづくり」(9.9%)、「利用者の苦情解決の仕組みづくり」(8.5%)の順となっている。なお、「特にない・わからない」は18.2%となっている。

属性別にみると、いずれの属性でも「在宅生活を続けられるサービス提供体制の整備」が第1位となっている。

図表 地域福祉の基盤整備を進めるために優先すべきこと (全体/複数回答)



図表 地域福祉の基盤整備を進めるために優先すべきこと
(全体・性別・年齢・居住地区－上位第3項目／複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		在宅生活を続けられるサービス提供体制の整備 45.8	福祉サービスに関する情報提供などの充実 25.7	地域の支え合いの仕組みの再構築 24.2
性別	男性	在宅生活を続けられるサービス提供体制の整備 44.9	地域の支え合いの仕組みの再構築 27.9	福祉サービスの提供拠点及び施設の整備 23.7
	女性	在宅生活を続けられるサービス提供体制の整備 45.8	福祉サービスに関する情報提供などの充実 28.7	人権が尊重される仕組みづくり 22.5
年齢	10代・20代	在宅生活を続けられるサービス提供体制の整備 31.7	認知症などの人の権利擁護・貢献活動充実／福祉サービスに関する情報提供などの充実 23.3	
	30代	在宅生活を続けられるサービス提供体制の整備 33.8	人権が尊重される仕組みづくり 21.5	福祉サービスに関する情報提供などの充実 16.9
	40代	在宅生活を続けられるサービス提供体制の整備 44.8	認知症などの人の権利擁護・貢献活動充実 28.8	福祉サービスに関する情報提供などの充実 27.2
	50代	在宅生活を続けられるサービス提供体制の整備 51.5	認知症などの人の権利擁護・貢献活動充実 32.4	福祉サービスの提供拠点及び施設の整備 27.9
	60代	在宅生活を続けられるサービス提供体制の整備 44.7	地域の支え合いの仕組みの再構築 30.3	福祉サービスに関する情報提供などの充実 28.3
	70歳以上	在宅生活を続けられるサービス提供体制の整備 49.7	地域の支え合いの仕組みの再構築 28.9	福祉サービスに関する情報提供などの充実 26.4
居住地区	富良野西中学校区	在宅生活を続けられるサービス提供体制の整備 50.3	福祉サービスに関する情報提供などの充実 28.5	地域の支え合いの仕組みの再構築 27.6
	富良野東・麓郷中学校区	在宅生活を続けられるサービス提供体制の整備 45.8	福祉サービスに関する情報提供などの充実 26.1	地域の支え合いの仕組みの再構築 23.9
	布部中学校区	在宅生活を続けられるサービス提供体制の整備 50.0	福祉サービスの提供拠点及び施設の整備 29.2	認知症などの人の権利擁護・貢献活動充実 20.8
	山部中学校区	在宅生活を続けられるサービス提供体制の整備 33.9	福祉サービスに関する情報提供などの充実／人権が尊重される仕組みづくり 27.4	
	樹海中学校区	在宅生活を続けられるサービス提供体制の整備 46.4	地域の支え合いの仕組みの再構築 25.0	ボランティアの育成と活動の促進／福祉サービスの提供拠点及び施設の整備 17.9

(3) 安心して暮らせる地域にするために重要な取り組み

問 33 誰もが安心して暮らせる地域にするために、あなたが重要と考える取り組みはどれですか。(あてはまるものすべてに○)【複数回答】

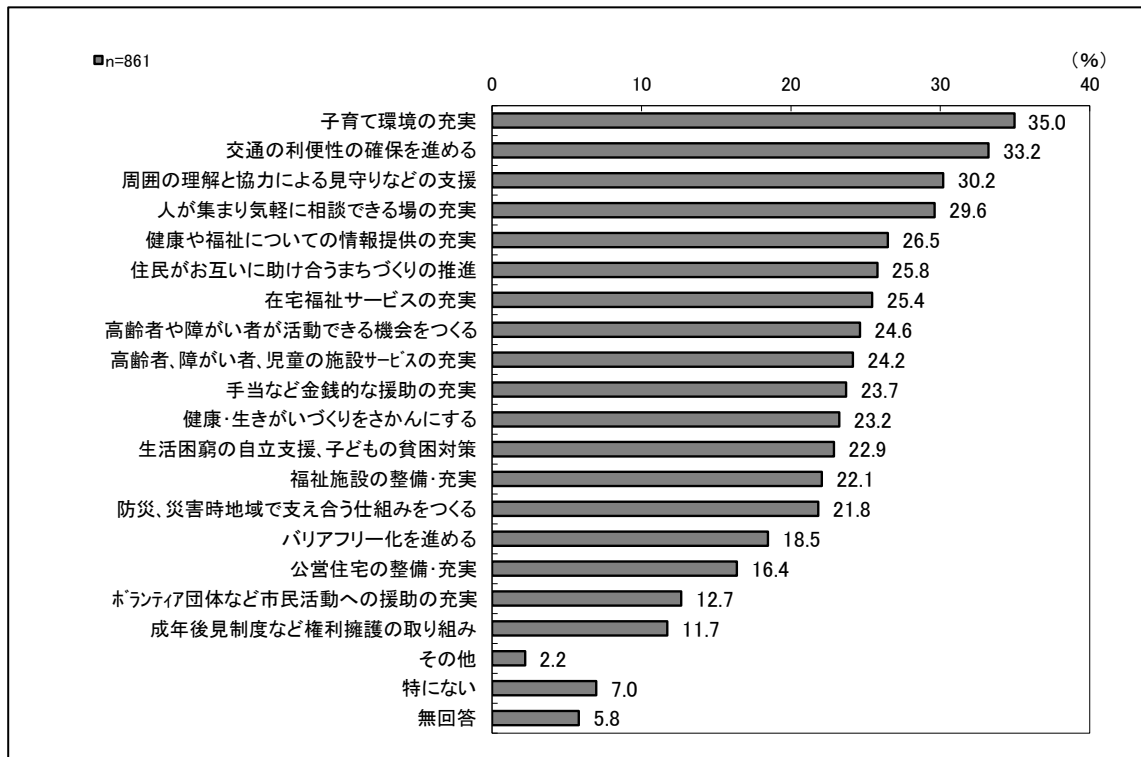
- 「子育て環境の充実」が第1位。「交通の利便性の確保を進める」、「周囲の理解と協力による見守りなどの支援」、「人が集まり気軽に相談できる場の充実」などが続く。

安心して暮らせる地域にするために重要な取り組みについては、「子育て環境の充実」(35.0%)が最も多く、次いで「交通の利便性の確保を進める」(33.2%)、「周囲の理解と協力による見守りなどの支援」(30.2%)、「人が集まり気軽に相談できる場の充実」(29.6%)、「健康や福祉についての情報提供の充実」(26.5%)、「住民がお互いに助け合うまちづくりの推進」(25.8%)、「在宅福祉サービスの充実」(25.4%)、「高齢者や障がい者が活動できる機会をつくる」(24.6%)、「高齢者、障がい者、児童の施設サービスの充実」(24.2%)、「手当など金銭的な援助の充実」(23.7%)、「健康・生きがいをづくりをさかんにする」(23.2%)、「生活困窮の自立支援、子どもの貧困対策」(22.9%)、「福祉施設の整備・充実」(22.1%)、「防災、災害時地域で支え合う仕組みをつくる」(21.8%)、「バリアフリー化を進める」(18.5%)、「公営住宅の整備・充実」(16.4%)などの順となっている。なお、「特になし」は7.0%となっている。

年齢で見ると、30代以下と60代では「子育て環境の充実」が第1位となっているのに対し、40代と50代では「交通の利便性の確保を進める」が第1位となっている。70歳以上では「周囲の理解と協力による見守りなどの支援」が第1位となっている。

居住地区で見ると、富良野東・麓郷中学校区では「子育て環境の充実」が第1位となっているのに対し、富良野市西中学校区、布部中学校区、山部中学校区では「交通の利便性の確保を進める」が第1位となっている。樹海中学校区では「健康や福祉についての情報提供の充実」と「子育て環境の充実」が同率で第1位となっている。

図表 安心して暮らせる地域にするために重要な取り組み（全体／複数回答）



図表 安心して暮らせる地域にするために重要な取り組み
 (全体・性別・年齢・居住地区－上位第3項目／複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		子育て環境の充実 35.0	交通の利便性の確保を進める 33.2	周囲の理解と協力による見守りなどの支援 30.2
性別	男性	子育て環境の充実 34.3	交通の利便性の確保を進める 32.2	周囲の理解と協力による見守りなどの支援 31.1
	女性	子育て環境の充実 36.4	交通の利便性の確保を進める 34.9	周囲の理解と協力による見守りなどの支援 29.6
年齢	10代・20代	子育て環境の充実 60.0	手当など金銭的な援助の充実 48.3	交通の利便性の確保を進める 40.0
	30代	子育て環境の充実 67.7	手当など金銭的な援助の充実 40.0	交通の利便性の確保を進める 27.7
	40代	交通の利便性の確保を進める 46.4	子育て環境の充実 43.2	手当など金銭的な援助の充実 38.4
	50代	交通の利便性の確保を進める 36.0	子育て環境の充実 33.8	高齢者や障がい者が活動できる機会をつくる／健康や福祉についての情報提供の充実 32.4
	60代	子育て環境の充実 31.6	健康や福祉についての情報提供の充実 30.9	周囲の理解と協力による見守りなどの支援 30.3
	70歳以上	周囲の理解と協力による見守りなどの支援 38.1	交通の利便性の確保を進める 30.2	人が集まり気軽に相談できる場の充実 29.9
居住地区	富良野西中学校区	交通の利便性の確保を進める 36.2	人が集まり気軽に相談できる場の充実 35.6	子育て環境の充実 34.9
	富良野東・麓郷中学校区	子育て環境の充実 38.2	交通の利便性の確保を進める 30.5	周囲の理解と協力による見守りなどの支援 28.7
	布部中学校区	交通の利便性の確保を進める 41.7	周囲の理解と協力による見守りなどの支援／在宅福祉サービスの充実 37.5	
	山部中学校区	交通の利便性の確保を進める 50.0	子育て環境の充実 30.6	人が集まり気軽に相談できる場の充実 29.0
	樹海中学校区	健康や福祉についての情報提供の充実／子育て環境の充実 35.7		高齢者や障がい者が活動できる機会をつくる／健康・生きがいづくりをさかんにする 28.6

(4) 地域福祉を充実させていく上での行政と住民の関係

問 34 地域福祉を充実させていく上で、行政と地域住民の関係について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。(1つに○)

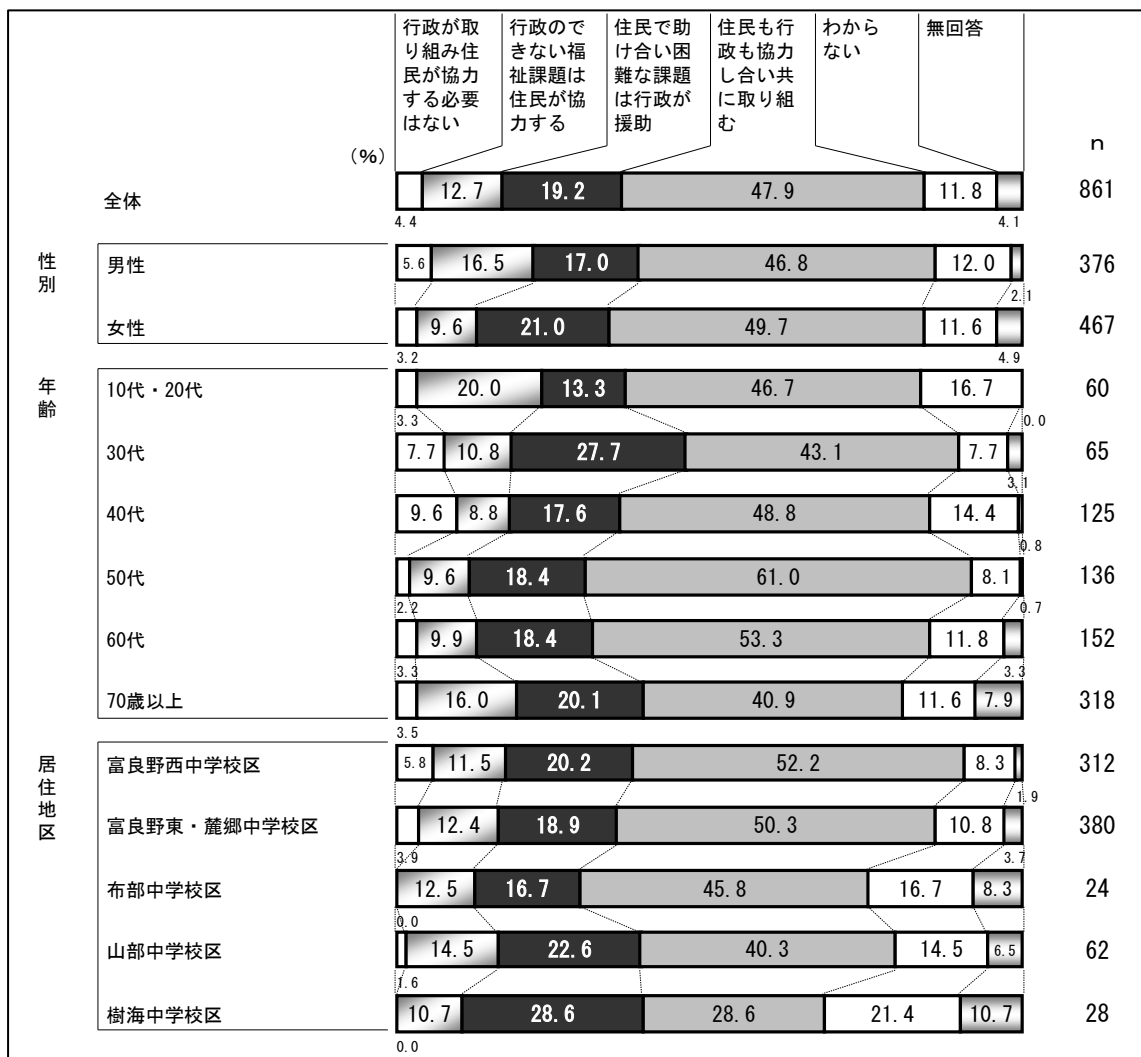
● 「住民も行政も協力し合い共に取り組む」が5割弱を占める。

地域福祉を充実させていく上での行政と住民の関係については、「住民も行政も協力し合い共に取り組む」が47.9%、「住民で助け合い困難な課題は行政が援助」が19.2%、「行政のできない福祉課題は住民が協力する」が12.7%、「行政が取り組み住民が協力する必要はない」が4.4%となっている。なお、「わからない」は11.8%となっている。

年齢で見ると、30代では「住民で助け合い困難な課題は行政が援助」が27.7%となっており、他の年齢層よりも割合が高くなっている。

また、居住地区で見ると、樹海中学校区では「住民も行政も協力し合い共に取り組む」が3割未満となっており、他の地区と比べて低くなっている。

図表 地域福祉を充実させていく上での行政と住民の関係



(5) 今後の福祉サービスや事業のあり方について

問 35 今後の福祉サービスや事業のあり方について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。(1つに○)

● 「保険料に頼らず市民と協働しサービス・事業充実」が4割、「保険料等負担増なし、現状のサービス・事業維持」が3割強を占める。

今後の福祉サービスや事業のあり方については、「保険料に頼らず市民と協働しサービス・事業充実」が40.0%、「保険料等負担増なし、現状のサービス・事業維持」が31.7%、「保険料等負担増、サービス・事業充実」が7.7%、「保険料等負担減、サービス・事業低下」が1.9%となっている。なお、「わからない」は14.1%となっている。

年齢で見ると、10代・20代では「保険料等負担増なし、現状のサービス・事業維持」が4割以上を占めており、他の年齢層と比べて高くなっている。また、10代・20代と40代では「保険料等負担増、サービス・事業充実」が1割以上を占めている。

図表 今後の福祉サービスや事業のあり方について

